

お坊

- フрутと私/肥塚 隆
- 言わせてヨ!イラク版"石油とデモクラシー"

● トロント県人会めぐり「日本のチベット」を誇る岩手県/
琵琶湖祭りだ!江州音頭、滋賀県/琉球王朝文化を伝承、沖縄県

● プロ犬VSプロ猫激突座談会/犬はこども、猫はセラピスト
● 若いお坊さんインタビュー/尼子三矢子 食いしん坊のおしゃべり/竹内禮子



Moξ

>> INTRODUCING THE ALL-NEW 2004 NISSAN MAXIMA

The Nissan Maxima has always set the standard for performance and luxury. Now it raises the bar. With innovative features like a Nissan DVD Navigation System* and Vehicle Dynamic Control,** you'll have the confidence to take full advantage of the road. And Maxima's award-winning 265-HP 3.5L V6 engine provides the power you'd expect from Nissan's 6th generation flagship sedan. Combine this with its aggressive design and countless premium enhancements – including the unique panoramic Skyview™ roof* – and you'll agree; the new Maxima has it all. Experience one for yourself. Experience **DRIVING EVOLVED.**



*Optional on 3.5 SE 4-Seat and 3.5 SL. Factory-installed option. Never program while driving. GPS service may not function properly when satellite reception is weak (see Navigation System owner's manual for details.) Mapping may not be available in all areas. Periodic updates to the DVD will be available. **Standard on 3.5 SL. Optional on 3.5 SE 4-Seat and 3.5 SE 5-Seat with Leather package (A/T only). Vehicle Dynamic Control is designed to help improve driving stability, but does not prevent accidents due to abrupt steering or by carelessness or dangerous driving techniques. Always drive safely. †Standard on 3.5 SE models. Nissan, the Nissan Brand Symbol, "SHIFT...excitement" tagline and the Nissan model names are Nissan trademarks.

265-HP • NAVIGATION SYSTEM • VEHICLE DYNAMIC CONTROL • SKYVIEW™ ROOF

www.nissan.ca



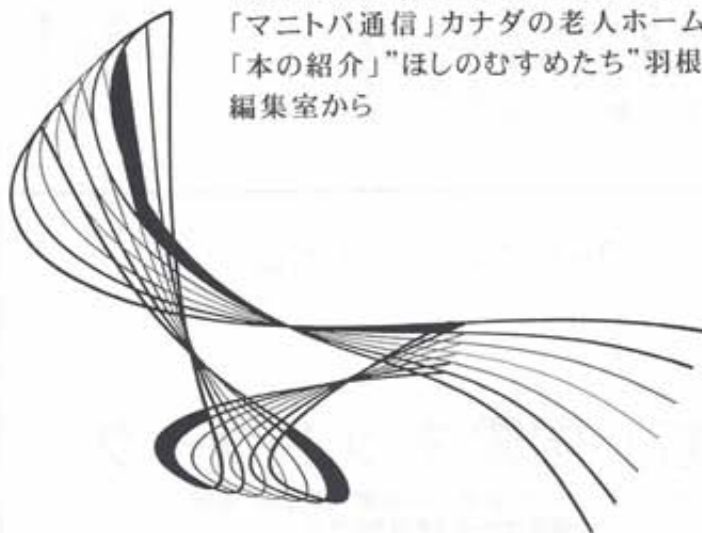
SHIFT...excitement



2003年春 第41号



カレンダー		2
「フルーツと私」	肥塚 隆	4
見たり聴いたり試したり		6
「イラク戦争と私たちの言い分」石油とデモクラシー		8
「イラクの小さな橋を渡って」池澤夏樹・文 本橋成一・写真		11
「東京裏通信」今時のお坊さん事情	尼子三矢子	12
食いしん坊のおしゃべり	竹内禮子	14
"Chako for JME"瀬戸山久子2003レザー・ファッションショー		16
携帯電話と音楽会	青柳俊明	18
イラストと文「ニューヨーク・トロント」	日塔富夫	20
「トロント県人会めぐり」		22
岩手県・「日本のチベット」の名誉/菊池幸工		
滋賀県・琵琶湖祭り20周年を迎えて/西川昭二		
沖縄県・故郷の文化と風土を大切に/仲田敏彦・仲田正徳		
「気功体験談」(不老長寿の薬を探して・21)	後藤順子	26
「言わせてヨ!」珍客おことわり	杉本花粉	28
歌・唄・詩/「童謡の旅」から	片山 博	29
「カナダ往還」二年ぶりに北京を訪れて	足立誠之	30
プロ犬VSプロ猫対決"犬はこども、猫はセラピスト"		32
「表紙のことば」きらめく春のショット	松本 寔	35
「マニトバ通信」カナダの老人ホーム	五島宏治	36
「本の紹介」"ほしのむすめたち"羽根節子訳・絵	小野冬生	38
編集室から		40



表紙 松本寔(まこと)

デザイン 日塔富夫

1部 4ドル

Events Calendar



トント

■アートギャラリー・オブ・オンタリオ

△「ポップ・フォトグラフィカ」

写真創生期の一八四二年から一九六九年までの写真集、版に入った十九世紀末の結婚式の写真等珍しいものがある(四月二六日〜七月二十日)

△「トム・トムソン展」

カナダ近代風景画のグループを代表する一人。スケッチを含む百四十点の展示。一九一七年謎の死を遂げて以来初めての全作品展。(五月三十日〜九月七日) www.ago.com

■ショウ・フェスティバル

ナイヤガラ・オン・ザ・レイクのシヨウ・フェスティバルが四月からス

タート。今年から舞台監督がジヤッキー・マクスウェルに代わり、カナダ現代演劇も加わる。現在上演中の演目は

△「Ma Blance」バーナード・シエウ(十一月二日まで)

△「三人姉妹」アントン・チエホフ(八月二日まで)

△「The Tower's Houses」バーナード・シエウ(五月十五日〜十月四日)

△「Blood Relations」シャロン・ポロック(五月一日〜十一月三十一日) www.showfest.com



■「ティーポット・コレクション」

カリフォルニア州バサディナの夫妻の世界のティーポット・コレクション。中にはエッ!これがティーポット?というようなバロックスタイルというのか珍奇、怪奇なデザインのものがある。一見の価値あり。(ガーディナー・セラミックミュージアム)

416-586-8080

■「Jazz at Massey Hall」

五十周年記念コンサートで、ハービー・ハンコック、ロイ・ハーグロブ、ケニー・ガートレットのクインテットが出演(五月十五日)

■イン・ザ・フリーダム・オブ・ドリーム・ネルソン・マンデラ物語
マイケル・ミラー作、児童向け、ヤングビープルズ・シアター(五月十八日まで)
416-862-2222

オタワ

■ナショナルギャラリー・オブ・カナダ

△「クリストファー・プラット展」

「Place I have been」のタイトルでニューファウンドランド出身の大家プラットの一六六一〜九〇年代のシルクスクリーンとリトグラフ三十点を展示。シャープな線と柔らかなトーンのコンビネーションによる静寂の世界(六月一日まで)

△「ワットー、シャルダン、フラゴナールの時代」

十八世紀の画家二十五人が描くパリ市民の生活。十七世紀のオランダ派、フランマン派の影響から出発し、ナポレオン時代までのフランス古典派の豊かさに触れる(六月六日〜九月七日)

<http://national.gallery.ca>



日新

NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送 / 倉庫保管 / トラック運送 /

海外・国内引越し / 事務所移転...その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び、「NISSIN」による安く、早く、確実なサービスを提供します。

Toronto / 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT.M9W 4Y3

Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881

Alliston / 292 Church St. S., P.O.Box 149, Alliston, ONT

Tel: (705) 434-3136 Fax: (705) 434-3140

Vancouver / #6-11411 Placsmith Place, Richmond, B.C. V7A 4T7

Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

モントリオール

■ファイナート・ミュージアム

△「エドワード・ヴィラール展」

エドワード・ヴィラール(一八六

八〜一九四〇)は後期印象派の

一人として知られているが、二

十世紀以後は装飾的アートの転

じた。パリ、オルセー美術館、ロ

ンドン、ロイヤルアカデミー・ア

トからの出展(五月十五日〜八

月二十四日)

△「フリッツ・ブランドナー展」

ブランドナーはドイツ系カナダ

人、ドイツ表現派からスタート、

マチス、ピカソなどの影響を受け

た。一九三〇年から六七年末で

の四七点。時代とスタイルの変

化を楽しむ(七月十三日まで)

■植物園

△「日本館のお茶と指圧と花見」

五月二日から九月一日まで、日

本庭園で緑茶サービス、指圧(十

五分、十五ドル)、着物の試着

(無料)の催しや五月十八日は恒

例のお花見(お弁当予約は十八

ドル Sit+872-0607)、生け花、

毎土曜日のモントリオール裏千

家支部主催のお茶会など。

△「ガーデン・ウィークエンド」

ガーデンングのシーズンを迎えて

www.villemontrai.qc.ca/jardin

■モントリオール・シンフォニー

△「マルリオーズ、レクイエム」

ジャン・クロード・カサジュニス指

揮、テナーはスタンフォード・オル

セン(五月二七、二八日、ウィル

フリド・ベレティエ・ホール)

www.osm.ca

■バンクーバー

△「E・J・ヒュース展」

ヒュースは一九一三年ノースバン

クーバーで生まれたローカルの風

景画家。風景への単直なアプロ

チが逆に人間の存在感を感じさ

せるユニークな画風の持ち主。十

七世紀のオランダの画家ヨハネ

ス・フェルメールを連想させると

いう評価。油絵、版画、水彩、デ

ッサンなど百点を展示(六月八

日まで)

ナナイモへ行くフェリー



△「ザ・ビッグ・ピクチャー」

ギャラリーの最近の購入から、国

際フォトグラフィック・アーティスト

ト十五人の作品展(五月十五日

〜九月一日)

www.vanargallery.bc.ca

■バンクーバー・シンフォニー

△「ロッシニの夕べ」

フランウエル・トービー指揮で「セ

ピリアの理髪師」、ウィリアム・

テル」序曲やオペラ「セピリア・

湖上夫人」のソプラノ・アリアな

ど(五月十六、十七日、チャンセ

ンター)

△「ルイ・ロティとの協演」

モーツアルトK482のピアノ

協奏曲をルイ・ロティと協演、他

にチャイコフスキー交響曲第四

番、エリ・クラウス指揮(五月二

四、二六日、オルフェウム)

△「ロシア音楽の夕べ」

ボロディンの交響曲一番、プロコ

フィエフ、ハチャトリアンなどのプ

ログラムでトービー指揮(六月

八、九日、オルフェウム)

www.vancouverymphony.ca

■演劇

△「川を渡って林の中へ」

ジョー・デビエトロ作のイタリ

系アメリカ人の世代ギャップ・コ

メディ(メトロシアター、五月三

〜三一日)

▽「ダイヤルMを回せ」

ヒッチコック映画でおなじみのク

ラシック・スリラー(スタンリーシ

アター、五月八日〜六月十五

日) 604-280-3111

日新トラベル NISSIN TRAVEL, a division of NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC. IATA

出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

学生時代のオーボエから
父親のフルートへ

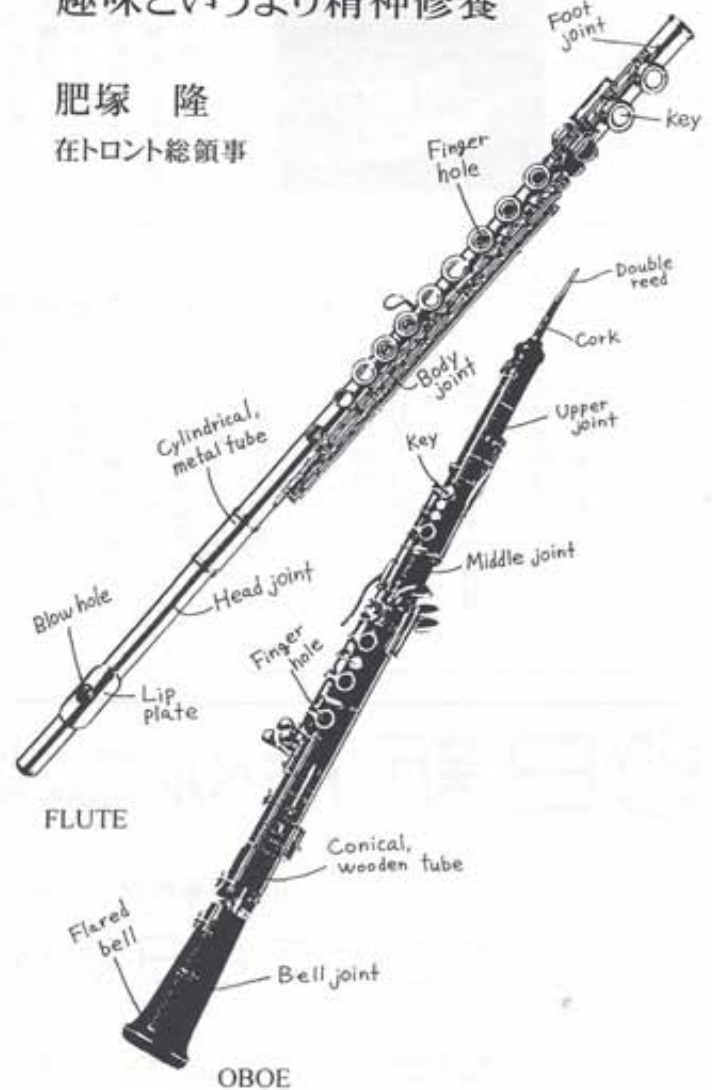
私がフルートを吹くようになったのはそれほど古いことではなく一九九五年のジュネーブ在勤時代からである。親父が亡くなってたまたま楽器が手に入った。学生時代に大学オーケストラでオーボエを吹いていたので、年を取ってから始めても何とかなるかもしれないと思って始めてみた。

最も古くからある楽器の一種なので、教則本の類は、単に音階を刻むだけのものを含めて豊富にある。同じことを長時間やっても余り気

フルートと私

趣味というより精神修養

肥塚 隆
在トロント総領事



にならないほうなので、土日は二時間ずつほど練習しているが、週日はほとんど練習できたためしがない。そのため進歩は非常に遅い。

オーボエが難しい楽器だということとは良く知られているので、学生のころは隣でフルートを吹いている同僚に、易しい楽器をやっている羨ましいよ、などといやみともグチともつかないことを言っていたものだが、どうもフルートも易しくないとわかって、

申し訳ないことを言っていたと思うようになった。

オーボエは葦笛の一種なので、乾燥させて船型に刻んである葦の葉を買ってきて、折って、二つに切って、片刃のナイフで自分に合った形に削っていく。各部分の厚さを二十分の一ミリから百分の一ミリくらいまで精密に測りながら削っていたように思う。これは練習時間と同じくらいの時間を当てなければならぬので、忙しい人には難しい楽器である。最近東京

では削ったリードを店で売っているそうだが、六八年の当時は日本全体でオーボエは二百本くらいしかないといわれていたので、とてもそのような市場は成立しなかった。現状は改善かとも思うが、売っているリードがそのまま誰にでも合うというわけではなからう。最後の調整はやはり自分でやるほかないのではないだろうか。やはり、フルートのほうが時間は節約でき、忙しい人向きということができよう。



も分かるようになった。良い演奏は誰が聴いても良いものだが、少しは技術的観点からも評価できるようなったということである。百打を切らない腕前でもゴルフを始めればタイガーウッズの凄さが少しは感じられるようなものである。

また、古くから多くの名曲がフルートのために書かれているが、フルートに注目しなければ知らずに終わつた曲も多い。音楽を鑑賞する上でも少し幅を広げることができたように思う。

一人で練習しているだけでは、我流に陥りやすいので先生に就いて習うことにしており、勤務地ごとこれまで三人の先生に習った。それぞれの先生の個性が勤務地の思い出と結びついており、その分それぞれ土地での生活に潤いが出ていたと感じる。

また、プロの腕前をある程度評価できるようになったのもメリットの一つかもしれない。六十年代、七十年代に活躍した、ランバルやニコレをいつまでも基準にしてしまうのは、年を取りつつある証拠かなとも思うが、超人的な演奏というものがあること

管楽器は楽器自体の温度が下がると音程が下がりコントロールしにくくなるので、休憩時には楽器を持って出たり、ステージに戻つたあとも吹いてみないまでも、早めに手に持って温めたり、素人なりに神経を使ったものである。この首席奏者殿は金のフルートを使っていたが、プロでもこの問題がなくなるわけではない。

この日はナタリー・デセーの「夜の女王」が素晴らしい出来栄で、演出も面白く、私には余り他に不満はなかったが、演奏が終わつたところでもかなりのブーイングが出た。指揮者のドボナーニは確かにウイーン・フィル初登場で期待されていたが、後日出した論評は芳しいものでなく、評判を確立できないままに終わった。これは普通気がつかないような変なところにも気づくようになるという例か。

週末に自宅で吹いていると、体の調子が如実に分かる。土曜日の朝は一週間の疲れが溜まっているのか余り元気がなく、きれいに音が出ることは少ない。土曜のコンベンでスコアが悪いのには理由がある。

最近は無謀にもバッハのソナタなどに挑戦している。大学オーケストラでは半年くらい同じ曲を練習する。腕前がプロと違うのは仕方がないが、定期演奏会ともなればそう恥ずか

しい演奏もできないので、同じ曲を反復練習するのである。曲の選定は従つて最も重要な決定であり、同じモーツァルトの交響曲でも三九番を選んでしまうと例えばオーボエの出番がなくなってしまう。大学オーケストラでブライムス以降の作品を取り上げられることが多いのは、編成が大きいと大勢の出番が確保され、楽団員の間で妥協が成立しやすいくからである。せいぜい選ばれるのは四曲だが、木管楽器の場合は通常楽団員が交替するので、三曲くらいを半年かけて練習することになる。フルートはトロンボーンやチューバに比べれば格段に出番が多いほうだが、それでも曲全体の三分の一程度のことが多い。三曲の演奏全体に二時間かかるとしても、実際に吹いている時間は四十分程度である。この単調な練習のなかでも、楽員はほんのり音楽する楽しみを感じるのである。これで、同じ曲を長時間やってもあまり飽きなくなつたのではないかとと思う。どんな難曲でも十年かけてマスターする気になれば怖くない。

こうしてみると私のフルートは趣味というより、精神修養の要素が強いかもしれない。もともと家族にとつては本当の精神修養かもしれない。目下、新しいフルートを購入したので、早く自分のものにすべく悪戦苦闘中である。(了)



★イラク・ブログを楽しもう！

今、Blog (ブログ) がおもしろい！

Webとlogという言葉がくっついて出来たBlog。ネット上の個人情報サイトといえば分かりやすいかな。通常のweb siteと異なって、更新も書き込みも簡単だから、Blog用ソフトさへ駆使できれば誰でも情報を発信可能。

先日のイラク戦争で一躍注目されたのは、「Where is Raed」と題したブログは

(http://dear_raed.blogspot.com/)。何しろ戦火のバグダッドからの生中継だというから、CNNでも取り上げられた。書き込み内容が三月二四日で途切れているのが心配だ。爆撃を受けたのかも。

サダム・フセインをおちよくるお茶目なブログ、

(<http://www.livejournal.com/~iraq/>)も登場したが、今日見てみたらなんとサダムさんは失踪したことから最後の書き込みになっていた。「オレの支持者へ、不正のために闘ってくれ」とかいメッセージが残っていたぞ。

おちよくりサイトで圧巻なのは、

Bushbiori

(<http://www.satirewire.com/weblog/bushblog.shtml>)ブッシュ大統領の言う事成す事を皮肉つてる。しかもこれが彼自身が書いている構造になっているから面白い。一読の価値あり。

さて、英文サイトはつまらんBlogって何がなんだか分からんぞ、という方へ。一日に二サイトを紹介してくれるお役立ち「百式」(<http://100shiki.com/>)がお勧め。ぜひお試しあれ。(こたつね)

* ついでに今話題のアラブTV局アルジャジールのウェブサイトを紹介します。

www.aljazeeraah.info/

www.aljazeeraah.us/

★映画短評

最近見た映画の感想を数人から聞いた。

「ゴースト・オブ・アビス」

映画「タイタニック」のカメラマン監督の記録版「タイタニック」、カメラマン監督みずから小さな潜水艇に乗り込んで、コンピューターのリモコン・ロボット・カメラを使って海底に沈むタイタニックの船内を撮影した映画。小さなカメラが艦橋の窓から潜り込み、客室やトイレを撮す。カメラが迷い込んで出られなくなる。別のカメラが救出に行く。

それとは別に当時の船内や甲板の乗客の光景を撮影して、それを艦橋のフィルムとだぶらせてゴースト的な雰囲気を出した映画である。スリータイム・シジョンなので、手の届く目の前に甲板の柱がニョーツと肉迫して臨場感は満点。だが見終わって別にカメラマン監督でなくともよいんじゃないかな、と思った。

「アダプテーション」

「Can You Catch Me, If You Can」が面白いと勧められて見に行ったらもう終わっていたので、主演俳優は好みでないが、見たら意外に面白かった。シナリオ・ライターの兄弟(ニコラス・ケージの二役)を主

JTB

ご旅行の御相談は
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West

Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ

人公にメリル・ストリープの蘭について書く女流作家とインディアンの蘭探集家が絡むコメディ。三ヶ月前、六ヶ月前と話が過去に遡っていく手法は、ハーン、どつかで見ただぞ、そうだ、記憶喪失症患者をテーマにした映画「メモント」の手法だ。「メモント」が成功したので、この映画やアカデミー賞候補になった「時間」などエディティング技術で過去と現在を交錯させた映画の流行となったようだ。

「遠い雷」(Disant Thunder)

インドの有名な映画監督、故サティアジット・レイ (Satyajit Ray) の代表作の一つ。たまたまシネマテック・オンタリオでレイ監督の作品特集を上映していたので見た。第二次大戦中、日本軍がシンガポールを占領してからインドの米相場が高騰し、買い占めが行われ、ベンガルの農村は米不足に陥る。日本軍がビルマに侵攻するとベンガルは飢饉になり、五百万人が餓死をしたという。教師と医者と僧侶の役割を兼ねる村のブレミン(カースト)を主人公に、貧しくても、のどかなベンガルの田園に米騒動が起り、村人の生活が一変する様相を詩的に描いた映画。飛行機の爆音が近づきつつある戦場を暗示するのが印象的だ。一九七三年の作品だが、

良い映画には年月を越えて残る感動を与える何ものがあることを証明する作品。

★セリーヌ・ディオンのニューCD
「Celine Dion One Heart」



二年間の育児休暇の後、ラスベガス、シーザーパレス・コロシウムで三年間のショー「ザ・ニュー・デイ」を三月末スタートしたばかりのセリーヌ・ディオンの「アート・サーカス」のシルク・ド・ソレイユも出演する大がかりなステージはエルビス・プレスリーのラスベガス出演以来と話題を呼んでいる。ツアーがあったら観に行きたいところである。

このニューCDも三月二十五日に発売になったばかり。タイトルの「One Heart」は「I drove all night」「Stand by your side」「Je

「Time enough」など十四曲。ウィト・リブランの製作で、ストックホルム、パリ、モントリオール、カリフォルニアのキャピトル・スタジオなど各地のスタジオで録音。因みに前作のCD「Let's Talk About Love」は全世界で二八〇〇万枚のベストセラーになったという。(コロムビア、ソニー・ミュージック)

★緑の部屋

濃いグリーン色の素敵なりモージュ焼きのディナーセットに合わせてグリーンで統一したF夫人の新しいコンドミニアムのリビング・ダイニングルーム。ダイニング・テーブルにはイタリア製のアンティークのエレガントな緑のシャンテリアが下がり、ワイングラスはやはりアンティークのフランス製の濃緑グラスで揃えられています。絨毯はうす色のグリーン、壁にはカナダの日系画家、中村カズオ画伯の新緑の森を描いた風景画二点がさりげなく掛けられています。知り合いのカナダ人室内装飾デザイナーにお頼みになったとかで、家具の配置とカラー・コーディネート、ショウイングの調和のよさに驚きました。ディナーセットの色に合わせて食事の部屋の色を整える、素敵な試みだと思いませんか。

(K・H)

壽司・割烹みかど

- お子様メニューもございます。
- お寿司その他デリバリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 梶田佳一
114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO
PHONE: 421-6016 LICENCED
日曜日もオープン(月曜休業)



東京「ツアーズ」(株)
TOKYO TOURS LTD.



まごころと感謝を胸に

旅

のご相談にお応えします。

TORONTO HEAD OFFICE

Tel:(416) 504-5111 Fax:(416)504-5115
436 Adelaide Street West, Toronto, Ontario MSV 1S7

FUJI VIP CONNECTIONS

Tel:(905) 672-8855 Fax:(905)672-8860
Sheraton Gateway Hotel / Toronto International Airport

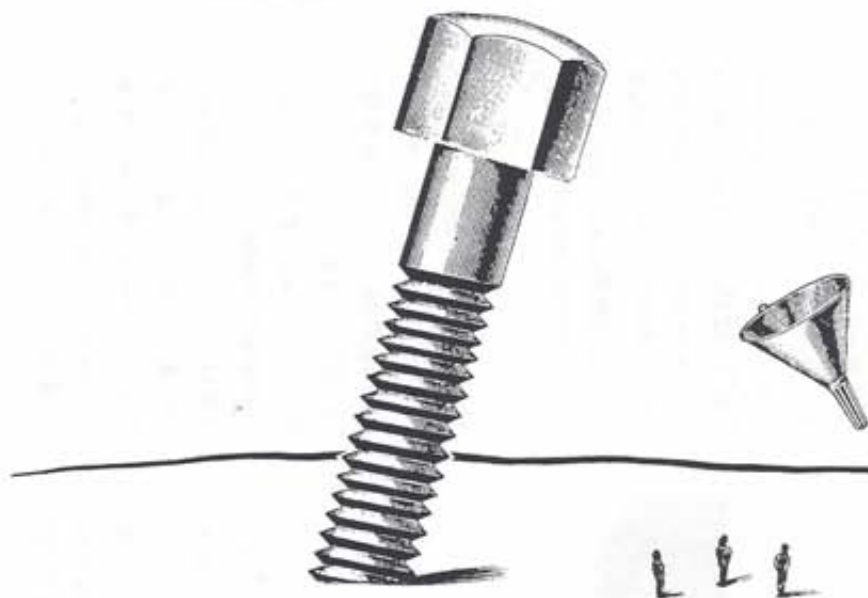
MONTREAL

Tel:(514) 842-1757 Fax:(514)842-0916
625 Ave Du President Kennedy, Suite 1203, Montreal, Quebec H3A 1K2

イラク戦争と

私たちの言い分

石油とデモクラシー



三月二十日から始まったイラク戦争が二十一日間でほぼ終わり、サダム・フセイン政権は崩壊し、同盟軍は目的を達しました。イラクのクエート侵入に対して国連承認の下にアメリカを中心に世界中が結束して戦った第一次湾岸戦争と異なつて、今度の戦争（第二次湾岸戦争というのでしょうか）には何かしつくりしないものがあります。サダム・フセインの独裁圧政と化学兵器の使用には皆反対ですが、なぜ今急に多大の犠牲を払つてイラクに攻め込まなければならなかったのか、という疑問が残るからです。イラク戦争について感じていることを読者の方々から匿名で伺いました。言わせてヨ！イラク戦争版です。（先着順）

◇確実に経済戦争

「一つは石油、フランス、ロシア、ドイツ、中国のイラク戦争に反対した国々は皆イラクの石油の輸入国であり、サダム政権と油田開発プロジェクトの契約があったり、契約交渉中です。武器を輸出してい

る国もあります。他方、アメリカはイラクには油田開発プロジェクトもなく、石油の権益はありません。国連主導の再建できるかどうか。アメリカが譲歩するかどうか？」

もう一つは武器、戦争は兵器をチエックする兵器産業にとつてはとつともないチャンスです。新兵器の性能に誤差がなければ、世界中にその兵器を売れるわけです。残念なことに経済はTVだ、ITだの平和産業だけではないのです。大量破壊の戦争は商品の延長線なのです。」

（新兵器のテスト台にされるなんて恐ろしいことです）

◇アメリカは正しい

「第二次大戦後、日本がなぜ瞬く間に復興できたか、ということを考えて、アメリカにきちんとした日本復興の試案があったからだと思います。マッカーサー司令部が実施した地主制度廃止した農地改革と税制改革は、戦後再建の柱になり、貧富の格差がなくなり、日本の発展の原因になりました。日本は今だつて外圧がなければ何事も変えられない国ですから、やはりアメリカのおかげで

す。イラクも戦後日本が受けたのと同じような政策をすれば良くなると思います。だからイラクを変えるための戦争をアメリカがやったのは正しいと思います。政治は皆のものなのですから。」

（アメリカは本当に日本にしたのと同じ政策を採れますか？採れたら拍手します）

◇個人的な戦争

「勤め先の同僚にイランから移民してきた人がいます。シャーの時代に裕福な暮らしをしていた家族で、シャーが亡命した後カナダに移つて来ました。その人は「アメリカは嫌いだ、戦争は必要悪だ」と云います。更に「まずイラクを攻めて、次にイランを開放して欲しい」と云います。

私から見ると、ブッシュ大統領がやっていることは、かなり個人的なことのように思います。父親の元大統領も自分も石油業界出身です。サダム・フセインがクエートでお父さんを暗殺しようとしたからだなんて、世界でもっともパワーのある米大統領がリベンジにパワーを乱用しているみたい……」

カナダは参戦しませんでしたが、国内では反対党のアライアン



スやオントリオやアルバータの首相など参戦しなかった人もかなりいました。みんなすぐお金と石油とビジネスのことを考えるのでしようね。フランスとドイツは戦争に反対していますが、裏でイラクに武器を売っていたり、訳がわからないですね。アメリカは「イラクを開放する。第二次大戦後の日本を見てみなさい！」といますが、どれもこれもみんな全部底が見えてしまっただけ、シラケますね。」

（映画「OK牧場の決闘」や「白昼の決闘」のシーンを思い出しました）

◇納得がいく説明が欲しかった

「今回の戦争で一番残念だったことは、クレティアン首相が腰だけで最後まで態度がはっきりしなかったことです。国連の承認がなかったからと言いますが、アメリカの隣国のカナダ人として考えると、参加・不参加のどちらにせよ、納得のいく説明が欲しかったと思います。一方、オントリオやアルバータの首相のようにアメリカに荷担していい子になった人たちもいます。上の方でコマを動かして戦争しているオカシナ戦争ですね。私の職場はユダヤ系の人が多い

地区にあります。第一次湾岸戦争の時は、建物に爆発物を仕掛けたという脅迫電話が盛んにあり、その都度待避しましたが、今回はそういうことは全然ありませんでした。」

（カナダはもつと早い時期に国連でイニシアチブをとるべきだったのではないのでしょうか）

◇エンロン倒産から始まった

「アメリカはイラクの解放をスロージャーガンにしているが、イラクを解放する気など全然ないでしょう。もし解放して自由投票を認めたら、北にクルド共和国、南にシリア共和国、中央にスンニ共和国とイラクは三分されるだろう。国連でなく、アメリカと英国が始めた戦争だから、米英が占領軍としてまず乗り込むであろう。」

最初から石油のために始めた戦争で、原因はエンロンの倒産にあります。エンロンが倒産して、アメリカの電力会社がメキシコからの石油をキャンセル、アメリカにメキシコの石油が入らなくなった。そこへ持ってきて、ベネズエラの石油産業のスト、アメリカの石油リザーブが下がりが在庫が減ってきた。そのためアメリカは中東石油への

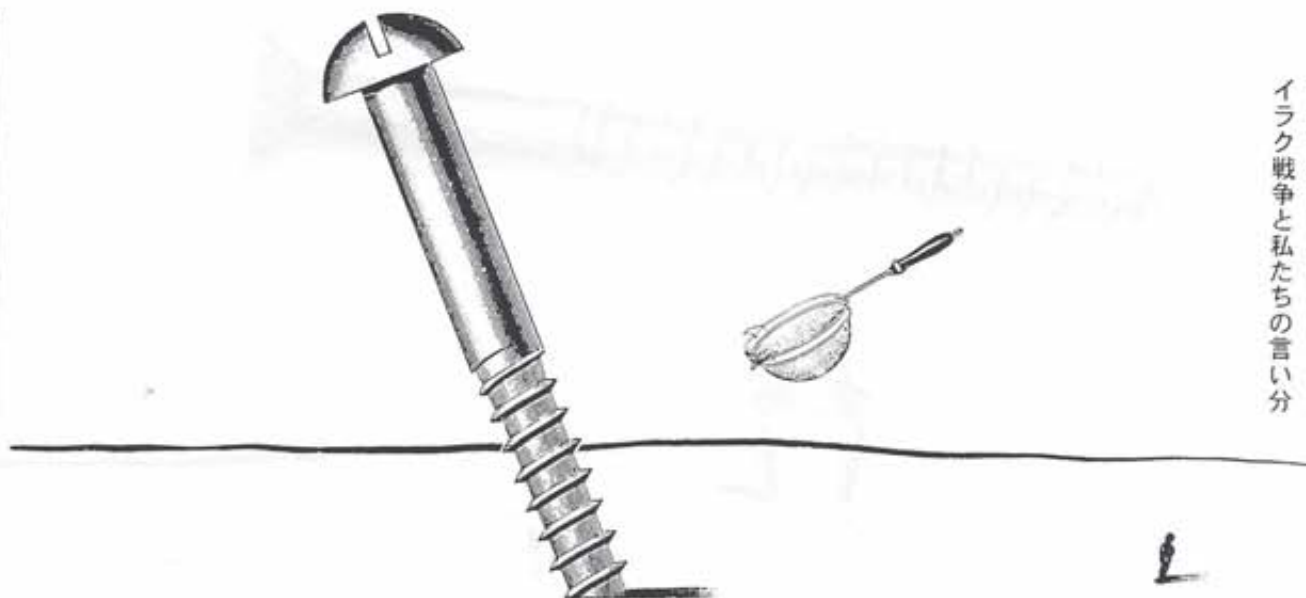
依存度を引き下げようとしてきたが、そうはいかなくなってきた、ということですね。」

（エンロン、ベネズエラ、イラク、タリバンが合っています）

◇サダム・フセイン放り出しは大賛成

「ルーマニアを旅行したとき、共産主義時代の独裁者チエジュスク大統領のブカレストの宮殿を訪れ、愕然としたことがあります。大理石でびかびか輝く、千二百室もあるという大宮殿、大きい部屋は日本の国会の委員会室の二倍くらいの大きさです。天井からはウォーターフォード特注の大シャンデリアが沢山ぶら下がりが、家具や壁板はマホガニー、国民の血と汗を吸い取って賢を尽くした宮殿でした。聞けばサダム・フセインもイラク各地に二百くらい宮殿を持っているとのこと。ユーゴのミロセヴィッチもそうでした。現代に通用しない圧政者達、報道管理を敷いているので国民は誰も文句が言えません。」

国民の税金と本来は国民に還元すべき石油の収入を吸い上げて自分を守る軍備に使い自分だけ賢沢をしている。周囲のこく一部



の人たちだけに甘い汁を吸わせている。許せないですね。イラクを民主的な国家にするためのアメリカの攻撃は承認できません。テロに荷担することを認めていたサダムをテロ撲滅のために放り出すことが出来て良かったと思います。」
 (勿論、賛成です。但し平和裡に放り出す方法をもっと真剣に考えるべきでした。)

◇外国嫌いになったアメリカ

「アメリカ人は今のところ政府のプロバガンダにマニピュレートされています。アメリカは二党システムがなくなつて、一つになつて、意見の違いを押さえています。盲目的愛国心というか国家に対するロイヤリティを強いられるという雰囲気なので、違う意見を持っている人は沈黙しています。フランスの品物の名前を変えてみたり、フランス、ドイツなど歴史的に仲の良かったヨーロッパの国が同盟者でなく敵になつたので、外国を嫌う傾向が皆の間に出てきています。本当のオープン・デモクラシーでなくなりました。」

「アメリカの方のご意見です。味方でないものはすべて敵という単純な発想」

◇よく分からないうちに始まり終わった?

「イラクから入ってくる情報が少なく、サダム・フセインがどうしているのか、よく分からないうちに戦争が始まり終わりました。事実関係がどうなのか、しばらく待たないと分からないので、今の段階では意見は言えません。」(同感です)

◇正義の戦争はない

ケネディ大統領が国連でしたスピーチだったと記憶しています。「戦争では本当の解決はつかない」という言葉があり、それを讀んだ時、すごいスピーチだなど思ったことがあります。あのスピーチの後五十年経った二十一世紀に戦争で物事を解決しようというのは、人間は全然進歩していませんね。世の中には良い戦争や正義の戦争はないと思います。」(同感です)

◇ツラを張り倒したい

人命、国際法を無視したブッシュの邪悪な戦争が始まる前から、戦後復興利権をどう分け合うか

ということを考えていた連中のツラを張り倒したい。復興利権の懐を潤すために日本の国富を使用するのは犯罪行為である。私が今まで納めてきた税金の全額を返還するというのなら黙るが、さもなければ云い続ける。日本の国富を利用してはいけない。
 (在米会社役員の方のご意見です。平和産業で汗して稼いだ大切なお金を利権屋などに盗られたくありません。)

★米オイルメジャー(エクソン・モービル、シェブロン、テキサコ)はイラクに石油資源権益を持っていない

イラクでの石油資源権益

石油産区	投資企業	予定産出量	状況
西クルナ	ルクオイル(露)	60-80万b/d	契約、12/27破産
スッパ	スラブネチフ(露)	10万b/d	交渉中
ルイス	スラブネチフ(露)	-	産出中
アリ・アフダブ	CNPC(中)	9万b/d	契約済み
マジュヌーン	トタルフィナ・エルフ(仏)	60万b/d	交渉中
ハフル・ウマル	トタルフィナ・エルフ(仏)	45万b/d	交渉中
ハシリヤ	アジップ(伊)他	30万b/d	交渉中
ハリファヤ	BHP(英)、CNPC(中)	22.5万b/d	交渉中
ラッタウイ	シェル(英)他	20万b/d	交渉中

(出所:「選択」2002年10月号)

丸紅経済研究所「第2次湾岸戦争と原油市場の動向」より転載

「イラクの小さな橋を渡って」

戦争と普通の人たち

池澤夏樹・文

本橋成一・写真



によって運命を左右される普通の人々については、ほとんど話題にされないことに憤慨したからである。「それでも、想像力はある。二〇〇一年の晩秋には、自分がアフガニスタンに生まれていたらと仮に考えてみることはできた。その時に想定したのは軍閥のトップでもタリバンの幹部でもなく、普通の市民という身分、つまり爆弾を受ける身だった」。

イラクで会った人たちは、自分たちの上にいつ襲いかかるかも知れない戦争の不安をかくして、日常生活を営んでいた。十年続く経済制裁のしわ寄せをかぶっているのはサダム・フセインでもバース党の幹部やエリート軍人、御用商人ではなくて、移民になって外国へ逃げ出す資金や機会のない人たち、あるいはイラクの国土に愛着を持ち、そこに住み続ける人たちなのである。社会は経済的に疲弊しているが、彼らには笑いがあり親切で明るい。彼らのナシヨナリズムやアラブへの連帯感を一概に批判することはできない。

池澤氏が親しくなった知識人Aさんはある時、「サダム・フセインは大きな失敗を二度した。一つはイラ

ク・イラク戦争、これは西側の先兵として使われただけだった。もう一つは湾岸戦争。これも裏にはまったようなものだった」と云った。そして自分の自己形成に必要な十年間を戦争やら経済制裁のために無駄にしてしまった、と嘆いた。

この本は普通の本と違って、池澤氏の文と本橋さんの写真が五分五分のバランスで構成されている。見ながら読むという感じである。市場で、モスクで、街路で、川で、砂漠の中で、イラクの普通の人々が写っている。

池澤氏はあとがきで「まだ戦争は回避できると思っている」と書いている。この本が出た今年二月の頃は、まだ皆がその希望を捨てていなかったのだ。だが、戦争が始まって終わった今は、このバグダッドに行く道にある「小さな橋」と写真に写っている笑顔の子供たちや日々の暮らしに似しむ大人たちが、戦火の中を無事に生き延びたことを祈るのみである。

巻末のイラク年表は簡単だが一九一五年、オスマン・トルコ時代からのイラクの歴史と今度の戦争までに至る経緯がよく分かる。

(光文社刊 九五二円＋税)

ISBN4-334-97377-9)

戦争は普通の人の普通の暮らしを破壊する。

池澤夏樹氏は昨年十月末ウルクの遺跡を見にイラクに出かけた。ユーフラテス川の中流にある古代メソポタミアの遺跡である。アメリカのイラク侵攻を時間読みしている時期にのんびり遺跡見物どころではないのだが、もうひとつの目的、「戦争になったら、どういう人の上に爆弾が降るのか知りたかつ

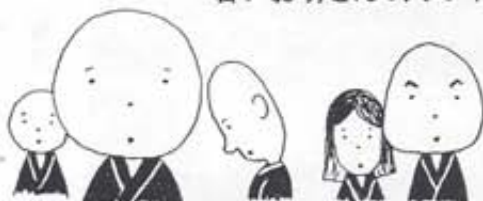
たから」という。

石油を大量に消費する国で安楽に暮らし、経済グローバルゼーション・システムの恩恵を受けている自分たちが、武力を背景とするアメリカの政治的・経済的覇権を批判する文章を書いたところで、それ以上のことは出来ない無力性を感じていた。新聞やテレビが報道する国際問題も各国政府と国連の間のかけひきに終始し、それ



今時のお坊さん事情

若いお坊さん5人のインタビュー



尼子三矢子



何年前か前、この通信を読んで下さっている人に「何をルポしたら面白いかなヒントを下さい」と頼んでみ

た。その時の返事に「日本独特の職業の人をインタビューするといいかも……」と言われた。

それを実感したのは、最近お遍路に回つてみて、お坊さんという職業の人に接して、マアその千差万別さに驚いたことだった。老人もいれば若者もいる。そつけない人もいれば親切な人もいる。

「この本堂にある十二人の鬼みたいなのは何ですか？」と尋ねたら「只の鬼です」という返事。それから二、三の寺を回ると又十二人の鬼。今度は「この仏様たちは十二神将といつて十二支を現しているで、薬師如来様を守っているのです。この中でも有名なのはバサラ大将といつて十円切手の絵になっていますよ」とその寺の住職の明快な答。

又、ある寺では「るしやな仏」と板に書いてあるので、「るしやなぶつ」って何ですかと、庭を掃いているお坊さんに聞いてみると「大日如来様のことですよ」と言う。「なぜ、そう呼ぶのですか？」と質問すると「昔からですよ」との答。

幾つかの寺を巡つていくと又「るしやな仏」という文字に出会う。もう一度同じ質問をしてみる。「ああ、その語源はサンスクリット語です。ピロシヤーナは光り輝く

という意味なので、日輪の仏である大日如来様のことなんですよ」と年の若いお坊さんが言う。オイオイお坊さん、こんなに学識が違つていいのよ、と思ひながら私は今、四国八十八カ所を巡つている。

今回は若い五人のお坊さんにルポ出来た（老僧は説教が長く、的が外れていて、今回はパスです）。仏教の宗派はいろいろなので割愛するとして、……

記 パーテン坊さん

Fさん（二十五歳）

彼の副業は、なんとパーテン。僧侶というものは生き方だと思ふのです。僕は学生時代パーでアルバイトをしていたので、この副業はとも自然です。二十四時間自分分は仏の営業マンだと思つているので、違和感はありません。うちの寺は貧乏なのでパーの稼ぎは生活費ですよ」と笑う。

長身、ハンサム、頭にバンダナを巻いてサムエを着て、カウスターの向こうに立つ。出資者が彼のパーテンダーとしての腕を買つて店を任せてくれたのだそうだ。

記 なりゆき坊さん

Sさん（二十八歳）

実家が寺ではないのに仏教大學を卒業。卒業後はなりゆきで本山に一年間の研修、そこで会った友人からある寺で人を探していると言き、行つてみると住職は病気で、そのまま副住職として寺を任される。しかしあくまで雇われ人。給料は中小企業の課長程度とのこと。

このままではと将来を案じている時、本山主催の旅行で女性と知り合う。彼女の寺は名刹で跡継ぎがない。かわいい女の子だったので、なりゆきで婚約。とうとう今年彼女の大きな寺の住職になるとのこと。このなりゆき坊さん、眉太く偉丈夫だ。

記 次男坊さん

Kさん（二十八歳）

この人は前の幸運なSさんとは違う。次男なので実家の寺を出て、叔父の寺の手伝いとして移籍をするが、叔父はまだ若く四十代。いつまで雇われの身かと不安だ。この寺は広くて掃除だけで午前いっぱいばかり、午後からは毎日のように法事があり、旅行などは一度も行つたことがないと言ふ。給料は？と聞くと同年代のサラリーマン並みで、結婚したら相手を食べさせていけるかどうか、

と言う。

「いつまでもフリーの坊主をやっているわけにはいかないのですが、この世界は狭いので誰かの紹介がなければ移籍も出来ず、自分ではどんなに住職になりたくても全て縁と偶然が僕の将来を左右するのです」話をする間も筆で掃く手を休めない。今回ルポした中ではこの人が一番感じが良くてすてきな青年だ。

「大丈夫ですよ。私の経験では二十代で勉強していたら三十代で華が咲きますよ」と励まして別れる。

記 茶髪ロング坊さん

Iさん(二十七歳)

四人目はこんなに驚いたお坊さんもない。

茶髪のロングでへらへらしてとても軽い印象。寺の長男だ。しかし話してみると外見とは違っていて、仏教への取り組み方は真面目だ。

「新興宗教へなぜあんなにすごい数の若者が流れるか不思議だったのです。ならば仏教に興味を持つてもらえるようイメージを一新しよう、自分も髪を伸ばして染めてみたのです。お通夜の席にいくと一瞬ドヨメキが起きますね(笑)。活動もサーフィンの指導員

やスノーボードのA級資格を取っ

て、寺のHPで恋愛相談を受けたりしています。親父はもっぱらお年寄りへの説教、僕は高校の学園祭などへ行つて、人の心の充実の話をしたり、バンドを組んでラップを歌ったりして、いつでも若者が寺へ遊びに来てくれるように呼びかけています」

大学で中国史をやっていたので、話の内容には苦勞しないと云っていた。これからはこんなお坊さんの時代になるのかも知れない。

記 布教大好き坊さん

Kさん(三十二歳)

五人目は旅で出会ったお坊さんだ。唯一結婚していた。彼も寺の長男だが、布教師という資格を持つているそうだ。人に会って話をするのが大好きなので、こうして呼ばれて行つて仏教のPRをすることは天職だと思つているのと。

柔らかい印象、写真が趣味で海外へは布教のためよく行くそうだ。その時は奥さんも一緒に二人で漫才をやっています」と楽しそうに話した。特に欧米では邦人が自費で仏教寺院を建てたり、コンドミニアムの一室で集まっていたり、御

徒を支援したい、と夢が大きい。布教も体力的に若い間でないとだめだと思ひ、寺は父母に任せて今は呼んで下さる所へはどこにでも行つて話をしてくるそうだ。

他のお坊さんは全て全部給料制だったが、この人はお布施だけで生活をしているので、奥さんは小学校教師で共働きとのこと。寺の布施収入は非課税なので丸々手元に残るのだが、給料制だと所得税がかかり、「どっちがよいのかはその人によりますね」とのこと。

彼らと話して分かったことは、基本にお坊さんの収入は葬儀や法事などのお布施なのだが、半分の寺はそれだけでは賄えず、役場勤めや教師などの副業で保たれているそうだ。又、出家するには必ず師匠を見つけ(父親でも自分のゼミの教授でもいい)得度というものを受ける。七歳くらいから本山に登録ができ、その後修行して出家から僧侶になるとのこと。お寺業界も小さな寺は全部合併吸収されて、住職が二つ三つの寺を兼務するのはこの頃は当たり前になつてきたとのことだ。今回は男性だけにルポしたが、女性の住職もめずらしくないとのこと、又それもいつか調べてみようと思ふ。

格安でよい品物をお探しなら当店で!!



小沢カナダ

- ・ ZOJIRUSHI, Panasonic Rice Cooker & Airpot
- ・ Henckel ・ 家庭用品 ・ 電気製品 ・ 日本食品
- ・ メーブルゴールドコイン、メーブル・シロップ

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3, RICHMONDHILL, ON L4B 1E2 Eメール: ozawaine@instar.ca

TEL (416) 229-6343 (905) 731-5088 FAX (905) 731-0778

JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール&クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto

(地下鉄 Bay 駅下車, Bellair 出口すぐ)



食いしん坊のおしゃべり

私たちは魚介類大好き家族
カナダの内陸トロントで
新鮮なシーフッドを楽しむ

私共は主人の仕事の関係で、
バナマ、ニューヨーク、プエノスア
イレス、ロスアンジェルス、トロ
ントと米州大陸を南北に移り住み
ました(その間東京に七年ほど暮
らしました)。トロント以外
はすべて海に面した都市で、魚介
類の好きな我が家にとつてはその
点恵まれておりました。

最後にトロント駐在と聞いた
時、トロントは大陸の中央じゃな
いの、これで新鮮な海産物ともお
別れか、と覚悟をして赴任したの
ですが、何とこのトロントという

竹内禮子

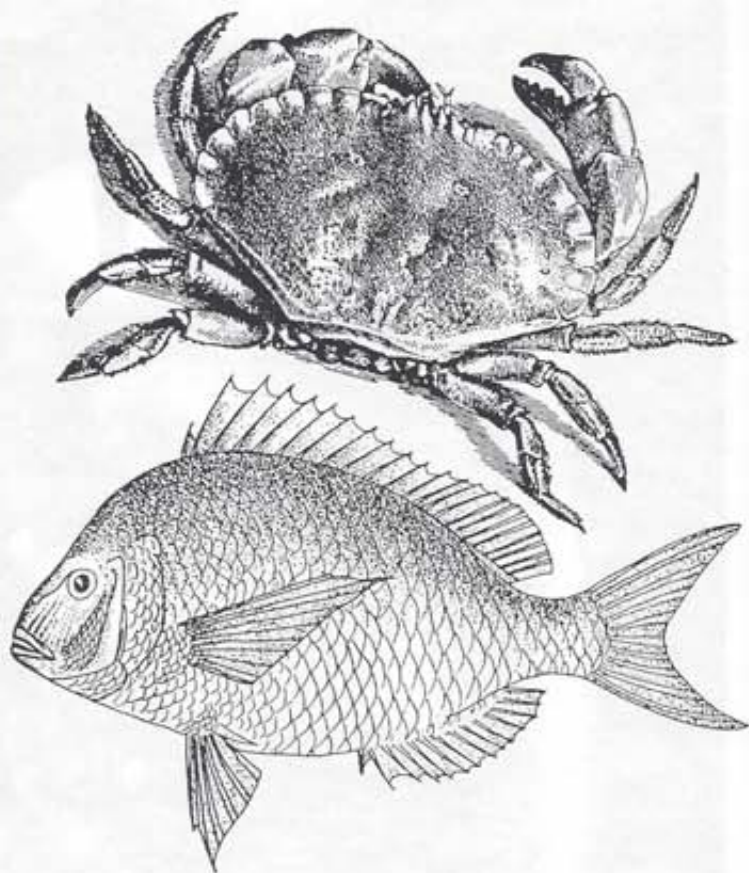
所は以前の駐在地にも劣らず新
鮮な魚介類が豊富で、全く嬉し
いサブライズでした。

この町は魚の好きなイタリヤ
人、ポルトガル人が多く、魚屋さ
んもそういつたラテン系のお店が
多いようです。最近はまだ中
国系のお店も増え彼らの好きな
魚介、甲殻類も入ってくる、それ
に日本人の魚屋もあるして、種
類も多く鮮度の良いものが手に
入るのは本当に幸せなことです。

海の幸の好きなエスニックが多
いことと、生ものや活きたものを
何百キロも運んでしまう輸送技
術の発達のお陰で、むしろ大陸の
中央の方が大西洋と太平洋の両
方から取り寄せられて便利とい
うことでしょうか。

私共夫婦は二人揃ってお恥ず
かしい程の食いしん坊で、主人は
もう退職してお金はないけど暇
はあるという身分ですから、美味
いものがあるととなるとそれこそ千
里の道も厭わず出掛けてしま
います。主人はお酒大好き、私
は一滴も呑めないけどおつまみは
好きという夫婦ですから、多分に
ゲテモノ的なものも含めて、珍味
には目がありません。

最近出来たバサースト/HW
Y7南の中国系スーパーT&T
マーケットにはエトピコークの南
から遥々出かけることも少なくあ
りません。六月頃になると日
系魚屋さんやロプスター・アイラ
ンド(ケンジントン地区、マールカ
ムに支店)にバンクーバーからの牡
丹海老(マヨミ)が出回りますが、
T&Tでは小型ながら大抵何時
も生贄(いけす)で泳いでいるよう
です。生きたのを買ってきて殻
をむいてワサビでいただくの歯ご
たえもあり大変美味ですが、一
日冷蔵庫で寝かせると更に甘味
がでます。この店には他に生き
たホタテ貝(Soft Shell)、つぶ貝
(Concha)があることもあり、ホタ
テは貝を開けよくわたをとって、
柱は刺身、ひもは先ほど開けた
殻で軽く醤油と酒で煮ると洒落
たお酒のつまみになります。つ
つぶ貝は小型の方が良いようで、臭
いのしない生きの良いのを選び、
これはお店で殻を割ってもらい中
身だけ貰って帰り、胴体のきれいな
な所以外は捨てて塩でこすり冷
水でヌメリをよく取ることが大切
です。賢沢を言わなければちよ
つと鮑(あわび)に近い食感の刺
身になります。



みる貝 (Gumi Gumi) は最近では日系魚屋さんの切り身を利用しますが、以前子供達もいた頃はよく貝を買ってきて作りました。

生きの良さそうなのが手に入れば、水管を熱湯にさすと漬けてすぐ氷水の中で根元の方から皮を引くと、綺麗にむけます。ちょうど靴下を脱ぐ感覚で、これを見ていた娘の友達がストックキング・シェルと名付けてくれました。

縦中央まで包丁を入れ中の砂を洗い流し外側に縦の切れ目を入れて刺身にする、身がそっくり反って如何にも美味しそうです。

根元近くの身は柔らかくお刺身には不向きなので、さつと素焼きでレモン醤油、または薄切りを醤油で炒り煮にすると美味しくいただけます。また貝 (Razor Clam) は細長い二枚貝で酒蒸し、或いはさつと湯がいて身ははずし薄味の旨煮も美味しいです。

貝と言えばやはり蛤 (はまぐり、Gumi) について書かざるを得ません。これだけは未だにニューヨークの方が良かったと思うのですが、生の蛤の味、これは日本でもいただけない格別の味です。普通の魚屋で売っているのは生

ではお勧めできませんが、キング / スバダイナ西にあるロドニー (Rodney) というオイスターバーでカクテル用の蛤 (アメリカ東部から来る Chert Stone か Lithac を買ってきて貝をあげ、レモン、ホースラディッシュ、ケチャップかシーフードソースでいただくともう病みつきです。牡蠣 (かき) は貝の先から開けますが、蛤は二枚貝の付け根から開けると楽なようです。ロドニーはオイスターバーですから、勿論そこでもいただけます。牡蠣も東海岸、西海岸のものと種類も豊富で、クマモト、ミヤギとか日本の名前をついた養殖物もあります。

最後に主人の得意なアサリ料理を一つご紹介しましょう。小粒の Manila Clam を、微塵のんにくを炒めたオリーブ油にさつと入れ、貝が二分位開いた所で葱、生姜の繊切りを入れ日本酒かけて出来上がり。この貝の二分開きというのがコツで、この国籍不詳の料理にわが家ではアサリの半殺しという物騒な名がついています。さて今夜のお魚は何にしようかしら。



Chakô
for JME

”Leather That Feels Like Silk”をテーマにカナダで活躍する日系デザイナー、瀬戸山久子さんの2003年レザー・ファッションショー”Chako for JME”の作品から。去る3月17～19日トロント博覧会場のリパティグランドの「2003年秋・冬トロント・ファッション・ウィーク」に参加して開催されました。



Chakô

f o r J M E



今年のテーマは『より軽くて、より機能的に!』、レザーという素材の限界を超えて豊かなイメージが広がるデザイン50点にテレビやマスコミ、ファッション関係者を含む観衆250人が魅了されました。

右ページ右はベージュの鱧皮型押し加工のアンサンブル。ジッパーを使ってロングコートからジャケットとショーツに早変わり。同左はキモノ地でトリムしたラムスキンスカート、ピンクのファー・ボンボンのショールが華やかで可愛いドレス。

左ページ右上は流行のタトゥー(入れ墨)模様をレザーに生かしたツーピース、右下はレース模様を加工したベージュ色のしなやかなツーピース。左上はフィナーレに拍手で迎えられる瀬戸山さん。左下は男子用カジュアルなラムスキン・シャツ。





携帯電話と音楽会

青柳俊明

昨年秋も深まったある夜、トロント交響楽団は、新装なったロイトムソン・ホールでホルスト作曲の組曲「惑星」を奏でていた。勇ましい部分が有名な曲だが、その谷間に咲いたユリのような幻想的で静寂な「ヴィーナナス（金星）」の曲に、うっとりとしかけたその時、事件は起こった。

携帯電話が客席で鳴ったのだ。

たちまち雰囲気はぶち壊され、耳をそばだてていたこちらの体には、怒りの血潮が大逆流する。何という無神経！破廉恥な迷惑！

ロイトムソン・ホールは、昨年春から秋にかけて改装工事を行い、面目を一新した。改装の目的は、演奏者からも聴衆からも不満の多かった音響を改善することにあつた。かつて、コンクリート打ちっばなしの表面と、客席やカーベットの布地とがグレーで統一され、シルバーがアクセントになつていた内装は、メープルの木材が大量に持ち込まれて、明るい木目を基調にした暖かな見てくれに変身した。

しかし、何といつても重要なのは、音響だ。客席上部の空間には巨大な立体が幾つか設置され、舞台上部には、円形と三日月形の反響版が吊るされた。どちらも、上へ逃げていた音を反射させて客席へ響かせるためだ。客席の床は、音を吸うカーベットからメープルの木に改められ、全て張り替えられた。その他、空調設備の完全分離等が行われて、確かにホールは、それまで失われていた低弦の響きが格段に向上し、大太鼓などドーンとくると手ごたえ十分になつた。また、パサパサとばらついていて各楽器間の混合加減もずつとまとまつたふくらみのあるものとなつた。声楽のリサイタルや、一部の独奏楽器が意外に響かない様子はあるものの、一大進歩は明白で、好奇心も重なる一種の「ホール人気」状態、コンサートのチケットの売れ行きは決して悪くないようだ。

しかし、ホールの響きが良くなれば、音楽だけでなく、雑音騒音もまたよく響いてしまうのだ。別に新しいことではなかったはずの問題が、急に気に障りだしたのは、私の歳のせいだけではなくて、携帯電話の普及率の急上昇のためもあり、ホール音響の向上が決定打になつたのだろう。それにつけても、もともと、ロイトムソン・ホールの客席マナーは決して良くない。プログラムには、まるで免罪符のように、主宰者側からしてはいけないことのリストは掲載されている。しかし、その規制の不徹底は明らかだ。

あからさまな大声の私語（演奏中の！）、鼻を突く香水、カチカチと凄まじい音を立てる安物の腕時計、キャンディを探してバックをゴソゴソ、包みを開いてまたゴソゴソ、ベタベタ卑猥にいちやつくカツプル…挙げていたらきりが無いが、他をぐんと引き離して急成長著しいのは、アラームウォッチと携帯電話だ。ああ、二十一世紀！

演奏会が始まって三十分、丁度佳境に入ると、八時半を回れば、周りに中からピツピツと信号音の海である。これが後半の十時を回る所では、被害はさらに大きくなる。信号音は一台あたりピツピツと二度ずつ鳴るからだ。

音楽が好きなら好きなほど、人は演奏中耳をそばだてている。全身が耳になるというやつだ。だから、ここで響き渡る無用な信号音は、体に針

を突き立てられるようだ。

これが携帯電話となれば、衝撃と破壊力は数十倍だ。私が何より嫌なのは、こうした無神経な騒音に接して、自分が放り込まれる激怒の心境だ。金を払ってまで腹を立てに行く者などどこに居る？まして、この怒りの質が、極めて凶暴なのである。友人のひとりには、「殺意を覚える」と述懐するのだが、それが誇張でも何でもないのがよくわかるし、そういう醜い感情を抱いてしまった後の後味の悪さというのがまたひどい。私の場合、やはり自己嫌悪を感じる。

このあたりの激怒の度合いは、例えば東京サントリーホールで起きたリッチ事件のものにもなつたものだ。この事件の場合、発端は携帯電話ではなく、音が消え入る前に飛び込んで拍手してしまつたファンに対する「仕置き」であつた。しかし、そんなサッカーファンまがいの暴力行為に音楽愛好家を走らせるのは、場違いな怒りの感情であり、それは全身耳状態の副産物なのだ。

同じサントリー・ホールでは、クラウディオ・アバドがマーラーの第三番の演奏中に起きた携帯電話騒音に立腹して、翌日からのベルリン・フィルの演奏会の指揮を拒否したこともある。結局、主宰者側が携帯電話持ち込みに対する注意書きを豪華巨大として徹夜で制作・印刷して、難を逃れ

”Leather That Feels Like Silk”をテーマにカナダで活躍する日系デザイナー、瀬戸山久子さんの2003年レザー・ファッションショー”Chako for JME”の作品から。去る3月17～19日トロント博覧会場のリバイグランドの「2003年秋・冬トロント・ファッション・ウィーク」に参加して開催されました。



Chako

f o r J M E



今年のテーマは『より軽くて、より機能的に!』、レザーという素材の限界を超えて豊かなイメージが広がるデザイン50点にテレビやマスコミ、ファッション関係者を含む観衆250人が魅了されました。

右ページ右はベージュの鱧皮型押し加工のアンサンブル。ジッパーを使ってロングコートからジャケットとショーツに早変わり。同左はキモノ地でトリムしたラムスキンスカート、ピンクのファー・ボンボンのショールが華やかで可愛いドレス。

左ページ右上は流行のタトゥー(入れ墨)模様をレザーに生かしたツーピース、右下はレース模様を加工したベージュ色のしなやかなツーピース。左上はフィナーレに拍手で迎えられる瀬戸山さん。左下は男子用カジュアルなラムスキン・シャツ。



携帯電話と音楽会

青柳俊明

ロイトムソン・ホールは、昨年春から秋にかけて改装工事を行い、面目を一新した。改装の目的は、演奏者からも聴衆からも不満の多かった音響を改善することにあつた。かつて、コンクリート打ちっばなしの表面と、客席やカーペットの布地とがグレーで統一され、シルバーがアクセントになつていた内装は、メープルの木材が大量に持ち込まれて、明るい木目を基調にした暖かな見てくれに変身した。

しかし、何といつても重要なのは、音響だ。客席上部の空間には巨大な立体が幾つか設置され、舞台上部には、円形と三日月形の反響版が吊るされた。どちらも、上へ逃げていた音を反射させて客席へ響かせるためだ。客席の床は、音を吸うカーペットからメープルの木に改められ、全て張り替えられた。その他、空調設備の完全分離等が行われて、確かにホールは、それまで失われていた低弦の響きが格段に向上し、大太鼓などドーンとくると手ごたえ十分になつた。また、パサパサとばらついてた各楽器間の混合加減もずつとまとまつたふくらみのあるものとなつた。声楽のリサイタルや、一部の独奏楽器が意外に響かない様子はあるものの、一大進歩は明白で、好奇心も重なつて一種の「ホール人気」状態、コンサートのチケットの売れ行きは決して悪くないようだ。

しかし、ホールの響きが良くなれば、音楽だけでなく、雑音騒音もまたよく響いてしまうのだ。別に新しいことではなかったはずの問題が、急に気に障りだしたのは、私の歳のせいだけではなくて、携帯電話の普及率の急上昇のためもあり、ホール音響の向上が決定打になつたのだろう。それにつけても、もともと、ロイトムソン・ホールの客席マナーは決して良くない。プログラムには、まるで免罪符のように、主宰者側からしてはいけないことのリストは掲載されている。しかし、その規制の不徹底は明らかだ。

あからさまな大声の私語(演奏中の!)、鼻を突く香水、カチカチと凌まじい音を立てる安物の腕時計、キャンディを探してバックをゴソゴソ、包みを開いてまたゴソゴソ、ベタベタ卑猥にいちやつくカッブル…挙げていたらきりが無いが、他をぐんと引き離して急成長著しいのは、アラームウォッチと携帯電話だ。ああ、二十一世紀!

演奏会が始まつて三十分、丁度佳境に入ると、八時半を回れば、周りに中からピツピツと信号音の海である。これが後半の十時を回る所では、被害はさらに大きくなる。信号音は一台あたりピツピツと二度ずつ鳴るからだ。

音楽が好きなら好きなほど、人は演奏中耳をそばだてている。全身が耳になるというやつだ。だから、ここで響き渡る無用な信号音は、体に針

を突き立てられるようだ。

これが携帯電話となれば、衝撃と破壊力は数十倍だ。私が何より嫌なのは、こうした無神経な騒音に接して、自分が放り込まれる激怒の心境だ。金を払つてまで腹を立てて行く者などどこに居る?まして、この怒りの質が、極めて凶暴なのである。友人のひとりには、「殺意を覚える」と述べ懐するのだが、それが誇張でも何でもないのがよくわかるし、そういう醜い感情を抱いてしまった後の後味の悪さというのがまたひどい。私の場合、やはり自己嫌悪を感じる。

このあたりの激怒の度合いは、例えば東京サントリーホールで起きたリッチ事件のもとにもなつたものだ。この事件の場合、発端は携帯電話ではなく、音が消え入る前に飛び込んで拍手してしまつたファンに対する「仕置き」であつた。しかし、そんなサッカーファンまがいの暴力行為に音楽愛好家を走らせるのは、場違いな怒りの感情であり、それは全身耳状態の副産物なのだ。

同じサントリー・ホールでは、クラウディオ・アバドがマーラーの第三番の演奏中に起きた携帯電話騒音に立腹して、翌日からのベルリン・フィルの演奏会の指揮を拒否したこともある。結局、主宰者側が携帯電話持ち込みに対する注意書きを豪華巨大として徹夜で制作・印刷して、難を逃れ

昨年秋も深まつたある夜、ロイトムソン交響楽団は、新装なつたロイトムソン・ホールでホルスト作曲の組曲「惑星」を奏でていた。勇ましい部分が有名な曲だが、その谷間に咲いたユリのような幻想的で静寂な「ヴィーナス(金星)」の曲に、うっとりとしかけたその時、事件は起つた。

携帯電話が客席で鳴つたのだ。たちまち雰囲気はぶち壊され、耳をそばだてていたこちらの体には、怒りの血潮が大逆流する。何という無神経! 破廉恥な迷惑!



たとか。いったい、どれだけ無駄な経費が費やされたことだろう。

昨年秋のニューヨーク・フィルのコンサートでも演奏中に携帯電話が鳴り、指揮者のサカリ・オラモは、「残念ながら、著しいインターラプションを受けましたので、本日の演奏はここで一旦中止させていただきます」と指揮台から客席に述べて、そのまま舞台から降りてしまったという。私は、オラモの対処は、音楽家として、非常に立派で、強く支持したいと思う。こうでもしなければ、もう改善の道は無い。

今年に入って三月初めニューヨークへ行った。サカリ・オラモが前述の歴史的なスピーチをしたエヴリーフィッシャー・ホールでは、開演前に携帯電話等電子機器の騒音防止を訴えるサインが、スライドで舞台奥に照射されていた。開演前には客席の明かりがいつも以上に落とされ、相対的に舞台のサインは目につき易くなる。それからスライドが消えて舞台に明かりが入って演奏会が始まる。なかなかスマートな処理である。翌日出掛けたカーネギーホールでも全く同一の電子機器騒音防止キャンペーンが行われている。

トロントが世界に誇るはずのロイトムソン・ホールでは、こうした処置はほとんど何も行われていない。唯一の例外は、ホール入り口に二本、携帯電話騒音防止を訴える看板が立っている。

。本文文字情報部分わずか三十七ンチもない小さなものだ。このサインが二本、前述の「 Weiner 」事件の直後から立つようになったのは、私がEメールでホール事務局へ苦情を送ったことも関与しているらしい。

普通私は、苦情の手紙なんぞ誰に對しても書かない。そんな閑なことは、リタイアしてからでもなければやってくる時間がないとも思ってきた。しかし、騒音のロイトムソン・ホールでの野放しは限度を越えて、大好きなシンホオニーの定期会員予約を取り消そうかと真剣に考えるところまで来てしまった。せつかく音響がよくなったのに、響きがよくなったからおさら耐えがなくなってしまったのだ。

私がメールで訴えたのは、各演奏会の開演前と休憩後に場内放送を入れて欲しいとの要請だった。合わせて、放送を入れないのなら、何故なのか、理由の説明をして欲しいと、ホール理事長宛てに送った。電話でホールの関係者から連絡があり、検討中であると言われたとき、返事は一切来ない。私が知る限りでは、二本のサインが立つただけが変化である。

私も関与した英語訳演劇公演「ゴジラ」(大橋泰彦作)では、わずか百席の劇場で、劇場側(ファクトリーシアター)の担当者が毎公演必ず客席前に立ち、口頭で直接訴える。迷惑にならないよう、携帯電話やアラームウォッチのスイッチを切ってくれと。

トロント映画祭の上映でも、上映ごとに各プログラマーが映画の紹介をし、監督を紹介し、スポンサーに花を持たせる一方で、必ず電子機器への注意を促す。映画を大切に観たいから、そんな愛情が伝わってくる瞬間でもある。

こうした注意が騒音駆逐を保証しないのは明白だ。しかし、何もしないのとは大違いなのはなからうか？パレモミュージカルも、開演前に注意を促している。私が送ったメールのCCを受けたある友人は、「放送をしないのはロイトムソン・ホールだけ。怠慢です。」と書き送ってきている。

やはり、主催者の責任は大きいのだ。騒音を出しているのは無神経な客だ。主催者は、自分達が責任追及されるのを逃避するのに必死になる。しかし、観客・聴衆をしつかり教育して、高いモラルを構築するだけのガッツが無いなら、千人を超える公衆を一箇所に集める社会的資格は到底ないはずだ。

もちろん、騒音を出している方の無神経ぶりもエスカレートしててなかなかのツワモノ揃いだ。

私は気がつかなかったが、「 Weiner 」事件では、電話を受けた人物は、そのまま客席で会話を続けたということだ、もちろん演奏中に「アッシャー」も止めて来ていない。これはホールの

責任)。また、ある劇場で上演中、携帯電話で会話を客席で受信してそのまま話して込んでいた人に注意したところ、「心配しないで、すぐ終わるから」と言い返されたとの話も聞いた。まったく呆れるばかりだし、こういう無神経な自己中心なヤカラには、更生の道は無いのかもしれない。しかし、どうしてもしてもらっては困ることは、やはりはっきり禁止して欲しい。

トロント交響団の公演では、ほとんど毎回、運営理事たちが開演前に舞台に現れて、楽団の経営が健全であると、世間の噂をもみ消そうとするようなスピーチを繰り広げる。それでいて、寄付を訴える。客席マナーがこんなにも悪いのに、どうして理事たちはひとこと「スイッチを切って下さい」と言えないのか。もし、これを言ってくれる理事がいるなら、私は本気で寄付を考える。しかしまず、こうして皆さんにも訴えたい。

せつかくの国際レベルのオーケストラを、せつかくの美しい響きの音楽堂を、心安らかに誰もが満喫するため、どうか、一筆書き送ってやって下さいませ。まっとうな聴衆・観客の声があつてこそ、彼等も無法者たちに強く出られるというものでしょうから。

参考・トロント交響楽団

butans@iso.ca

ロイトムソン・ホール

contact.us@th-nh.com



トロント岩手県人会

トロント岩手県人会

トロント岩手県人会の紹介をするには、まず、岩手県の名譽挽回から始めねばならない。何しろ、古代から「蝦夷(えみし)」の住む地として蔑まされて来たのだから。

「日本のチベット」と言えば何処か。そう、それは岩手県である。そして、これは岩手県をバカにする表現である。暗く遅れた地域、何やら怪しい慣習をもった未開の人々が暮らす秘境の地、そんなイメージが込められている。これは、奈良時代から平安時代に掛けて、京の人達が東北をイメージしたものと重なる。しかも、恐ろしいことに、このイメージはつい最近まで日本にはびこっていた。

でも、私は、「日本のチベット」と言う表現は、岩手を賢えるものと捉えている。チベット学術調査に携わった色川大吉氏は「チベット・曼荼羅の世界(小学館ライブラリー)」の中で、「チベット文化は、東西世界に開かれた豊かな内容を持つ高水準のものであり、その繁栄は当時(十六、十七世紀)のイスファハン、デリー、イスタン

ブルなどど並ぶものではなかったかと想像される。」と語っている。また、ヨーロッパ人はポタラ宮殿を「東洋のバチカン」、ギャンツェの万仏塔をアツシジに匹敵すると評価したそうである。

岩手には平泉文化がある。現在世界遺産に登録するための準備が進んでいるが、私は平泉文化はチベット文化に共通するところがあると思っ

る。一つはミイラであり、もう一つは仏教である。唐木順三氏は、「金色堂の解体修理の際に、漆に香料(沈香や白檀)を混ぜて使われていることが解つた」と金色堂調査の結果を紹介している(統あずまみちのく：中央文庫)。

金色堂には、奥州藤原四代のミイラが納められおり、皆金色の堂は金銀、螺鈿、夜行貝など七宝で飾られている。面白いことに、チベットのミイラは「良泥と白檀の木を粉にしたものを一緒に」こねて、死体に塗って「あるそつだ。さらに、「死体を祭る堂の中に、七宝で」しらえた塔を立て、屋根

は皆金色の光を放っている」という。(河口慧海氏の報告)

そして、唐木氏は、「阿弥陀本尊以下の諸仏を安置した須弥壇(金色堂の事)の直下にミイラの棺を置くというのは全く破天荒なこと、古今にその例を見ない。」といっている。私は、この方法はチベットから伝わったと思っ

ている。

もう一つ共通性は仏教である。山口瑞鳳氏は、チベットの仏教を彼の著書「チベット(下)」：東京大学出版会にて次のように紹介している。「チベット仏教は八世紀後半から十三世紀初頭にかけてのインド仏教を受け継いでいる。(日本の仏教は八世紀以前のインド仏教に由来するとしている) (チベット仏教は)より完全な利他、つまり他者を『我執』から解放するため、に限りなく『一切智者』への道を進み、決して自らのために『成仏』も『涅槃』も求めない。インド仏教本来の形態は『一切智者をめざす絶対利他が仏教徒の姿勢』だという。ところが、「中国・日本仏教は『他を我執から救う

仏教』としてあつたはずの菩薩の道を『我執のままの自らが救われる仏教』に変質させてしまった」と、山口氏は指摘する。

これを、平泉の仏教と京の仏教を比較する形で見よう。唐木氏は、前述の書の中で、「藤原道長の方成寺造営、関白頼通の宇治平等院造営、さらに白河法皇の法勝寺造営は、いずれも造営者自身の現世利益のためのも」と指摘した。

これは、まさに『我執のままの自らが救われる仏教』である。これに対し、奥州藤原清衡の中尊寺は、その「中尊寺落慶供養願文」に見られるように「一音の及ぶところ、千回限らず、抜苦与楽、あまねく皆平等なり」を旨として建立され、戦争(東北は「蝦夷征伐」の名のもと、朝廷軍に攻め続けられた)で死んだ官軍もえみしも、そして、狩りなどで死んだ鳥獣も魚介も、ともどもに鐘声によつて浄土に赴くことを得さしめることを目的としている。ところが、先に紹介した道長のように、己一人の極楽往生を願つた



のとは大きく違うところ(唐木氏)である。つまり、平泉には、チベットを通じて本来のインド仏教が伝わっていると言える。

「日本のチベット」岩手は、こうして名誉を回復する。

トロント岩手県人会の紹介のほすが、岩手県の名譽挽回の文で始まったのは、県人会会則に会の目的として「カナダの地に岩手の文化を知らしめる」と言うのがあるからだ。これまでも、一九九〇年十月にカナダ公演に來た「早池峰神楽」を手伝ったり、一九九一年にトロントにいらした宮沢賢治協会会長の佐藤英二さんの講演会を支援した。また、独自の行事として、一九九六年宮沢賢治生誕百年トロント祭開催、二〇〇二年には長編アニメ映画「アテルイ」のトロント上映など、岩手の文化をカナダに知らしめる活動を盛んに行っている。賢治百年祭では、フルート奏者ロン・コープ氏の演奏、賢治生誕の地岩手県花巻からトロントに自費で駆け付けた劇団ラアスの演劇も行った。また、アニメ「アテルイ」の上映では、オリジナルの映画が日本語のため、台詞を英訳し英語の字幕スリーパーを付けていった。どちらも大成功ではあったが、大変な作業であったことも事実である。しかし、トロントの皆さんに多に喜んで頂けて嬉しい。

さて、会が発足したのは、一九九〇年五月九日で、今年でまる十三年



蝦夷(えみし)の誇りを胸に 「日本のチベット」の名誉 菊池幸工幹事

になる。当初は、十二名の会員でスタートし、現在では、県出身者や県人会支援者、県に縁りのある人たちと各々の同伴者を含めて三十二名の会員が登録している(子供は含まない)。一番多い時は五十人近くいたこともあったが、駐在の方が日本に帰国してからは、あまり増えていない。また、岩手県人会としての定期的行事であるが、春に年次総会・バーベキューパーティー、新年には新年会を開いている。

ここまで紹介して、読者の中には「岩手県人会の会員同志は何語で話しをするのだろうか。」と疑問を抱く方がいらつしやるのではないだろうか。

県人会の会則第六条に「使用言語」という項目があり「原則として岩手県の標準語を使用し、意思疎通が困難でやむを得ない場合は、東京地方の方言または英語を使用しても良い事」が規定されている。実際には、岩手県と一口にいっても北と南、沿岸と内陸、山のこちらとあちらの村によつて言葉が異なり、いわゆる「岩手県の標準語」が存在しないことが解った。従つて、意思の疎通は、不本意ながらも、東京地方の方言を「共通語」として使用している。

岩手県人には、蝦夷(えみし)としての誇りがある。それをトロントで示していきたい。尚、岩手県人会に関する問い合わせは、菊池(電話:416-481-5090)までどうぞ。



トロント滋賀県人会

滋賀県人会は和歌山県人会と共に古い県人会である。設立は一九七四年だが、それ以前に湖東会と青柳会という二つのグループがあった。滋賀県庁から知事の特使が訪れ、二グループの合併を勧告、話し合っ

た結果、一緒になった。

会の歴史が古いので、高齢者会員が多く、三百五十人の会員中、百十人が八十歳以上の会費フリーの名譽会員。残り二百四十名が普通会員である。それでも引退者が多く、五十歳の人などは稀だそう。カナダ人が一人会員にいますが、後はほぼ全員日系人。なぜか新移住者がいない。

会長の西川昭二さんは七十四歳。子供三人、孫五人、十年前に三十五年勤めたカナダ・ポストを引退し、今は同郷の奥さんと二人暮らし、教会のボランティア活動に参加している。仕事は一人暮らしの老人に温かい食事を届けるミール・オン・ザ・ウィール、当番の日には十九軒に配達して回る。今日はその西川さんをイーストヨークのお宅にお訪ねした。

「私はバンクーバー生まれの帰化二世です。一九三八年十一歳の時に彦根に近い実家の祖父が危篤になり、母親と弟三人と一時帰国したところ、二年後に太平洋戦争が始まりカナダに戻れなくなり、そのまま二十年日本にいました。彦根中学を卒業して、海軍兵学校の七十七期生に入学しましたが、終戦になり彦根に戻ると、滋賀県庁から通訳が必要だから出頭せよ、という呼び出しです。県が命令するなんて変な話ですが、当時はそうだったのです。以来



一九五九年にカナダに戻るまで進駐軍で働きました」

「しばらくしてカナダから父親が来て、家族と合流しました。そのうち父が亡くなり、私は日本で結婚して子供が二人いましたが、一家でカナダに戻りました」

滋賀県人会には西川さんのような帰加二世が多いそうで、連絡や会報などすべて日本語である。

滋賀県は浄土真宗宗徒が多いせいかトロント仏教会での行事が多い。この三月二十九日に第二十九回戦没者法会を行った。春には年次総会、親睦会、八月にはピクニックと行事が続く。三世、四世の青年部が別個にあり、子供祭りや老人ホームのもみじセンターと共催でお寿司作りやゲームなどを行っている。

ハイライトは初秋の琵琶湖祭り。今年は二十周年を迎えるので江州音頭保存会を滋賀県から招き、十月四日に大々的に開催する。今の日系文化会館にはステージがないので、レスリーとエグリントンの韓国の文化センターを借りきって行う。会員の林さんが作った櫓をステージの真ん中に組んで本格的にやるとい

う。「面白そうですね。江州音頭は河内音頭みたいなものですか？」

「いや、昔仏教の伝道で鈴のついた杖をつけて物語に節を付けて説教して回ったのが起り、彦根に近い豊



今年琵琶湖祭り二十周年
江州音頭で盛大に
西川昭二会長

郷(とよさと)が発祥地です。物語を音頭取りが錫杖で拍子を取りながら歌う。それに櫓太鼓がつくわけです。太鼓の名手の辻新一さんが来られます」

念仏踊りや阿呆だら経に似ているのだろうか。滋賀県は昔から芸能が盛んで、県人会にも演芸部があり、寸劇、手品、カラオケ、日舞などの余興を受け持っている。

県と海外県人会、又海外の県人会同志の連結、交流も盛んである。彦根中学から毎年十七名の生徒がミシガン州アンダーバーに一週間ホ

ームステイに来るが、その行きか帰りに必ずトロントに寄って三泊四日を過ごす。日本に行ったこともないという会員がホストファミリーを志願し、生徒達は会員の家に分宿し、バスをチャーターして市内観光、ナイヤガラ観光、歓迎会に出席する。

「県人会多しといえども毎年世界大会をやっているのは滋賀県だけ」と西川さんが自慢するが、滋賀県庁主催で世界中に散在する滋賀県人界の代表者達が毎年集まって世界大会を開いている。昨年第九回は八月にパリで開催され、カナダ、南カリフォルニア、メキシコ、アルゼンチン、ブラジル、ベルギー、ハワイ、英国、フランスなど各国の県人会代表三百人が集まった。国松善次滋賀県知事も出席して、会議は日英二カ国語で行われた。日本語を解さない三世、四世の若い世代の参加者も多く、今後はスペイン語も加えたいと言っているから、まさに県人会グローバル化時代である。今年はカリフォルニアで開催される。略称「全滋連」、全国滋賀県人連合会なる組織が東京にあり、日本全国、全世界に散らばる滋賀県人をオーガナイズし、機関誌を発行している。

昔から江商―近江商人と言えは、ケチで抜け目のない商売人の代名詞であったが、同時に何処にでも

出稼ぎに行く進取の気性を現している。滋賀県から多くの移民が海外に出かけたのも、そういう県民性によるのかも知れない。

「トロントの滋賀県出身長老格にはダンダスユニオンの創始者の石河省三さんや内片新助さんなどビジネスで成功した人が多いですね」と西川さんも言っている。

連絡先・416-751-7409



トロント沖縄県人会 『球陽会』

トロント沖縄県人会の『球陽会』は一九七〇年に設立され、トロント市を中心に約五十家族が所属している。カナダにはトロントの他にバンクーバーとレスブリッジに沖縄県人会がある。バンクーバーの県人会が一番会員数が多いそうだ。

会長の仲田敏彦さんはピカリングに住んでいるが、八十一歳の父親の正徳さんが県人会設立者の一人で、会の歴史に詳しいというので、スカポローのお宅に正徳さんを訪れて敏彦会長と一緒に目に掛かった。

仲田さん一家が沖縄からトロント



に移住したのは一九六四年、沖縄が一九七二年に日本に返還される以前である。返還前の沖縄に住む人は無国籍だったので、仲田さん一家は駐留米軍高等弁務官の証明書を保持して、日本本土にいったん移り、日本国籍を獲得してからカナダ移民の手続きを取った。

「沖縄は米軍に基地を取られて、農耕地が少なくなり、その土地問題を解決するために米国はしきりに海外移住を奨励した。その第一陣が米国が責任を持って送り込んだポリビア移民です。その後アルゼンチンやブラジルにも送り込まれました。」
戦前は多くの移民のようにハワイ経由でアメリカやカナダに入った。又フィリピンにも沖縄から大勢移民したが、日本軍敗北の巻き添えを食ってその人たちは全滅したという悲しい過去がある。

球陽会の名前は、中国の記録の中に沖縄を「球陽」と読んでいたので、又、県立沖縄農林学校の校歌「見よ球陽の青天に……」とあることから採ったという。

球陽会の活動は年間行事を中心に行われる。シーズンの始まりがピクニック、毎年七月一日のカナダデーに八十人ぐらいが集まってスカポロ一のモーニングサイド公園でピクニックを楽しむ。次が八月初めのシビック・ホリデーを利用したゴルフ大会

毎年留学生を沖縄に派遣 故郷の文化と風土を大切に 仲田敏彦会長と 仲田正徳(せいとく)さん



トーナメント、昨年はブッシュウッド・ゴルフクラブで開催、五十人が参加した。ブレイの後の夕食会が又、楽しみという。

年次総会は十月に行われ、会計報告、役員改選をする。会長の任期は二年、仲田敏彦さんは次はもうと若い世代の新移住者二世、三世にバトンタッチしたいと語る。締めくくりが十二月のクリスマス・パーティー、去年は留学生、ビジネス関係者も含めて約百五十人集まったそうだ。

特別の行事はカナダから沖縄へ毎年県費留学生を一人選抜して派遣していることであろう。留学資格はカナダ生まれであること、沖縄人の血が入っていることが条件という。これは沖縄県が主催して、毎年世界各地の沖縄県人会から十人の留学生を一年間受け入れている。今年もカナダからはトロントの三世、藤田コージ君が選ばれて、琉球大学へ留学する。

父親の正徳さんは八十一歳、第二次大戦の学徒兵の生き残りである。「ボツダム少尉です」と笑って言うが、「沖縄は激戦地だったから大変だったでしょう」と聞くと、航空隊に入れられたが、幸いにしてパイロットの適性がなかったため福岡の第六軍に回され、そこで敗戦を迎えたとのこと。旧軍人の血が騒ぐのか、イラク戦争にエキサイトしている。「アメリカは正しい。日本の戦後を

考えてもらえん。米国のおかげで農地改革など戦後の日本がどれだけよくなったことか」意見を云うと話が逸れるので「イラクもそうなればよいですね」とだけ答える。

沖縄は、日本とは異なる歴史、文化、風土を持っている。沖縄の人たちは皆おらかでおだやかだが、同時に日本本土とは違うんだぞ、という気込みと身構えを感じさせられる。それで「沖縄人のアイデンティティは何ですか？」とうかがうと、「私達是对外的には日本人、日本人には沖縄人を主張しています」と正徳さん。「ボクたちは琉球王朝の末裔だと思っています」と敏彦さんが答えた。ねばり強く、団結力が強く助け合うことが県民性だそうだ。

言葉も日本とは大分違う。東西南北をコチ、イリ、ハエ、ニシという。東はコチ、百人一首の「東風(こち)吹かば……」のコチである。西は西表島(イリオモテ島)のイリである。それにしても北のことをなぜニシと言うのだろうか。これはちよつと混乱する。「沖縄ではシベリアから来る冷たい風をミンシという。新しい北風と言う意味だ。南風原と書いてハエバルと読む。沖縄には平安朝時代の言葉が残っているのです」優雅な話である。沖縄には私たちの遠いふるさとにつながる何かが残っているようだ。

連絡先・905-427-3480

気功体験談

後藤順子 (RNCP)

「気」とは何か？とよく質問されま
すが、日常、使っている「気」のついて
いる単語を並べてみましょう。天気、大
気、空気、電気、磁気、湯気、湿気な
どの自然現象、気分、気持ち、気が合
うなどの心の動き、病気、正気、狂気、
邪気等の病に関する言葉など、いろい
ろとありますが、実は、どれも「気」の
一部なのです。

気とは何か

気とは、宇宙を動かしているエネル
ギーで、生命の源です。

中国医学では、全てが、気に結びつ
いています。針や漢方薬や按摩でも、
手段は異なりますが、気が不足してい
れば、補充し、気の滞りがあれば流れ
を改善することで、陰と陽のバランスを
取るという治療方針は同じです。

人体の気は、父母から受け継いだ先
天の気と、食物や空気から摂取された
後天の気に分類され、生命を維持して
います。

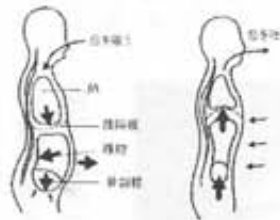
内臓や意識の制御は、気の働きによ
るもので、病気とは、まさに気が病むとい
うことで、それに伴って運氣も悪くなる
のです。気の流れが悪くなると、痛み
や、張りを感じます。

気功の要素

気功の三要素は、「姿勢」、「動作と
呼吸」、「意念」です。「呼吸」は長く息
をすること、「意念」は、精神、神経、心
を調整することです。この三つがそろっ
と気功になります。

姿勢が悪いと、内臓に圧迫を与え、
気血流れが悪くなります。肩こりや腰
痛を訴える患者さんの多くに、背骨や
腰の骨が歪んでいる事が多いのは、これ
を証明しているように思います。

呼吸は、まず自然呼吸から始めま
す。鼻から静かに、ゆっくり深く、次第
に長くしていき、口からゆっくり息を吐
きます。その時、ゆっくりと時間をかけ
て全てを吐くようにします。自然の状
態で行っている呼吸は一分間に15〜18
回くらいですが、5〜8回位にしま
す。



腹式呼吸
は、お腹に手を
当てて、お腹を
膨らませたり、
へこませて横隔
膜を上下させ
る呼吸方法で
す。息を吸って

腹部を全方向に拡張し、息を吐いて背
骨の方に向かってお腹をへこませ、平ら
にしていきます。その時、性器と肛門
が引き上がるまで続けます。普段、無
意識に、呼吸しているときには、肩や

肋骨で呼吸しているため、全機能の三
十％程しか、活用されていません。横
隔膜の移動を1cm増やすだけで、肺の
通気量が、250〜300cc増加し、呼吸機
能が強まり、血液中の酸素量も増え
神経系統の機能も高くなります。又、
腹腔内の各器官に対する按摩的作用
があるので、胃腸の蠕動運動を高め、
消化吸収能力を高め、その結果全身へ
の栄養供給を高め、各器官、組織の機
能を強化します。

意念は意識、無意識といった精神の
作用のほかに、神経の働きも含んでい
ます。横隔膜は、通常、自律神経によ
って、無意識に動かされていますが、運
動神経を使って、意識的に動かす事が
できます。意識的に、心臓の動きを変
えて、血液の循環を促進したりできま
せんが、横隔膜を意識的に動かす事
で、心臓の循環を促進できます。つま
り、呼吸は、自律神経と運動神経の接
点なのです。よって、呼吸を調節するこ
とで、自律神経を調節することが出来
るのです。自律神経は交感神経と副交
感神経とからなりたち、体の中でアク
セルとブレーキのような働きをしてい
ます。交感神経を「陽」、副交感神経を
「陰」に置き換えて説明することができます。
意識的に呼吸法を行う時、吸う
時間を長くすると、交感神経が興奮
し、反対に、吐く息を長くすると副交
感神経が興奮し、体と心がリラックス

します。

外気功とは

気功を練習することを練功といいま
す。素敵なことに、例えば練功を休んで
も、それまで溜めた分は無くなりませ
ん。少しずつでも、続けることで、次第
にコップの水が溢れるように、自然に外
部に向けて放たれるようになります。
長い鍛錬の末、この気を出して治療に
使えるようになった人を気功師と言ひ
ます。気功師の出す気を、科学的に分
析すると、微電流、静電気、電磁波、
磁力線、赤外線、音波、光などが検出
されているそうです。実際には、チリチ
リした感覚、ビリビリした感じ、暖か
さやヒンヤリした風の通るような感覚
としてとらえることが出来ます。

気功をする時の注意

気持ちは高ぶっていたり、怒りや悲
しみの状態の時を避け、気分が落ち着
くのを待った方が効果があります。自
分の体力に合わせて、無理しないよう
にしましょう。練功には、静かな場所
で、木の下の木、水の流れ、新鮮な空
気の流れがある場所が最適です。ゆっ
たりとした音楽を流すのもよいのでし
ょう。また、気功の途中で、電話が鳴つ
たり、来客があつたりして、中断する事
は、体によくないので避けるようにしま
しょう。

【氣功の入門編】

では、自宅で簡単に出来るマスター呉の混合氣功の入門編を紹介します。

準備



椅子の手前、1/3位に座る。

足を肩幅に開き、平行に並べる。手のひらを上に向けて両膝に置く。頭を真っ直ぐにして、少し頸を下げる。背中と腰をリラックスさせる。舌は、上顎に付ける。目は真っ直ぐ前を見て、薄目をあける。

氣功の手順

① 自然呼吸

一から七まで数えながら、ゆっくり息を吸い、一から十まで数えるながらゆっくり息を吐く、呼吸の際、意識して、頭、首、肩、胸、腹、背中、腕、手、指、足、足の指を順番にリラックスさせて、三回繰り返す。

② 腹式呼吸

臍に両手を当てる。女性は左手が上で男性は右手を上にする。息を吸う時には、腹を八十%膨らませ、吐くときは腹を白%へこませます。息を入れる時は、一から五まで数

え、吐くときは一から十まで数える。五分から二十分繰り返す。

③ 臍の高さで合掌し、鼻の幅だけ、隙間を作る。息を吐きながら、顔の幅まで広げ、鼻の幅まで、息を吐きながら近づける。九回繰り返す。更に同様に、顔の幅から肩の幅に広げて、九回繰り返す。

④ 左足を少し引いて、椅子から立ち上がる。肩幅に足の幅を決めて膝を少し内側に曲げて立つ。両手を臍の高さから、胸の高さへ、掌を上に向けて息を吸いながら上げて、息を吐きながら手のひらを下に向けて臍の位置まで下げる。九回繰り返す、手の平を体に向けて、お腹へ気を送る。同様にして、胸と頭にも気を送る。

⑤ 腰の位置で両手を外周りに円を描くように回す。同時に膝を足首も回転させる。同様に内回りでも、円を描き水泳しているようなイメージで膝と足首も回転させる。

⑥ 両手を重ねて時計周りにお腹九回をさする。半時計周りも同様する。

⑦ 両手を四回さすつて、目に当てる。そして、その手で耳を通して、頭までさする。最後に両手の指で髪の毛をとくように、前から後ろにやる。

この手順はマスター呉による練習用のビデオテープの解説を要約したものです。実際に、テープと合わせて練習すると、比較的、簡単です。

【マスター呉との出会いと体験談】

マスター呉との出会いは、本当に偶然でした。今年の三月末に、学校の展示の手伝いで、トロントのコンベンション・センターに行つた時でした。

まるで路地で日向ぼっこしているように、超リラックスし、周りの雰囲気と全く合っていない変な老人が、退屈そうに椅子に座っていた。実は、彼が、雑誌で紹介されていた有名な氣功マスターだと判明したので早速、個人的な健康上の質問にいった。その時、「治療に來なさい」と言われて以来、毎週、治療とグループ氣功に参加している。

私が初めてマスター呉の外氣を受けた時は、座つて左手を上げて、右手を臍につけた姿勢でした。突然、かなり強い感じで、手の平にジグザグに横ぎる冷たい風を感じた時、胸に詰まっていた重くて冷たい殻が崩れていくようだった。一瞬で、心がとても暖かいなっ

ていき、長い間、胸の中に押し込めていた、悲しい事や辛いことから、開放されたように、目から涙が溢れ出て止まらなくなつた。

二回目は、手を合わせて、立つた姿勢だった。外氣を受けたると、私の体は、円を描くように、規則的に何度も回転した。その夜、寝ているときは、脊椎に白い光が、ゆっくり上下している感じがして、体が痙攣した。次の週からは、かつて無かったほど、とても愉快な気分で、爽快に過ごす事ができた。

その時のマスター呉の説明によると、外氣を受けて、涙が出たり、規則的な体の動きは、氣血の停滞が外氣によつて、開いた時に起こる現象で、好転のサインの一つだそうです。

氣の感じ方は、人によつて異なり、数メートル離れた所からでもすぐに氣功師の氣を感じられる人から、全く何も感じない人まで様々なようです。

経過は、カイロプラクターでは、直らなかつた脊椎の湾曲によつて生じた坐骨の痛みが無くなり、三回目の治療で一センチ程短かつた私の左足の長さが右足とほぼ同じになり、楽しい氣分が継続しています。身体的な痛みや歪みを取るだけでなく、精神にも影響がある事を体験しました。

氣功は、運動と精神力で、いつでも、どこでも出来る、薬や鍼や他人の力を借りず、自分の病氣を自分で直し、長寿を目指す究極の健康療法なのです。

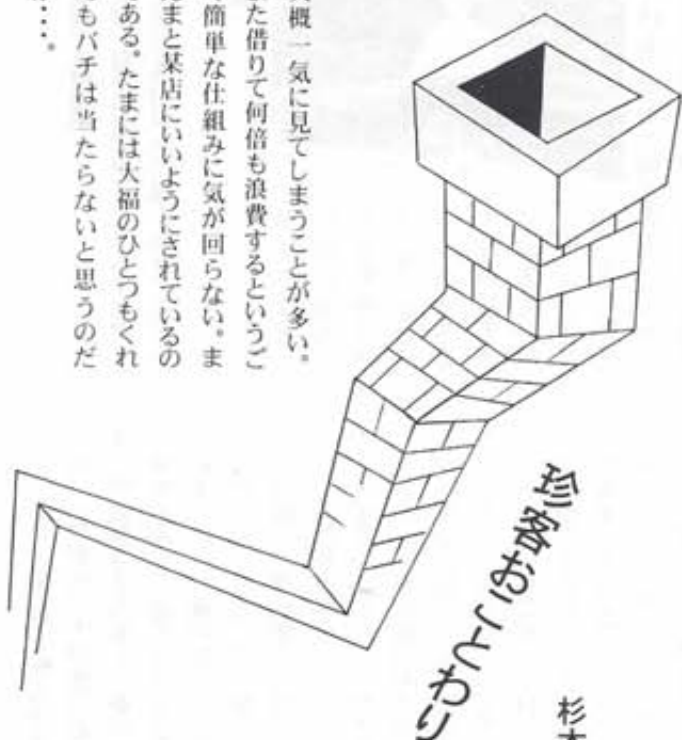
WU's Qi Gong & Tai Chi Fitness Centre, 7368 Yonge Street, Suite 306, Thornhill, Ontario tel: 416 618-1679



その日は仕事が非番で、化粧に精出すこともなく、朝からコーヒーをくびくびやりながら某食料品店から借りてきたビデオをマヌケ顔で見ている。このビデオが曲者で二泊三日だと一本につき一ドル戻るので、

夫も子供たちも揃って家を出て、この後の数時間は天下である。ビデオに没頭しているはずなのにファイヤープレースの辺りからキーキーと金属音が耳にはいる。四、五回鳴ったかと思うとまた小一時間は静かになる。ビデオに集中し始めると、又聞こえる。どこかトタンが外れて風に鳴っているのかと、初めの二、三時間は大して気にも止めなかった。でも午後の二時になり三時になると、いくら何でも敏感(?)な神経がファイヤープレースの方向に行かざるを得

大概一気に見てしまうことが多い。また借りて何倍も浪費するという、ごく簡単な仕組みに気が回らない。まんまと某店にいいようにされているのである。たまには大福のひとつもくれてもパチは当たらないと思うのだが……



杉本花粉

得なくなってきた。ここまで来て、やつと何かの動物が煙突の中に入り込んでいるに違いない、と確信した。ファイヤープレースの空気孔のフタを開けたとたん、ビュンという感じで小リスが落ちてきた。「わあ、かわいい」ペットにいいかも知れないと一瞬思ったが、一匹の猫でも大変なのでその考えはすぐ止めた。そのうちに子供たちが学校から帰り、どうやって捕まえ逃してやろうかということになり、次男がアニマルレスキューに電話して捕まえて貰ったらと言出した。だが、そのアイデアは即時撤回させてもらった。

以前、我が家のバカ猫がラクーンに追いかけられ、三軒隣の大木の上に登れるだけ登って降りられなくなると、二泊三日の木の股暮らしとなったことがあった。エサの買い出しも便砂の掃除もしない子供たちは、毎晩猫の名を呼び捜し回っていたが、「誰かが持っていてしまったか、家を出したかでしょ。これも運命、あきらめなさい」と言ったそばから、三軒隣の人が「お宅の猫らしいのが木の上で鳴いているよ」と知らせにきた。ほぼ九割方、もう抜け毛の掃除と便砂の掃除から開放されるヤレヤレと内心胸をなで下ろしていたのに、急速の

知らせに子供たちや近所の人たちの手前、めいっばいの見つかって良かった顔とどうやって助けてあげようか顔に一変させなければならなかった。近所の人たちは異常なほど協力的であちらこちらから梯子が総出で集まった。しかしどれも届くにはほど遠い。空腹なはずだからエサで誘っても三階の屋根より高い所からでは見えないし匂いも届かない。誰が電話したのか、いよいよアニマルレスキューの登場と相成った。彼らは慎重に、バカが付くくらい慎重にゆつくりと猫をなでたりなだめたりしながら救出した。

アニマルレスキューの隊員さんは、ほとんど帰り支度をしたのにも関わらず請求書を出さない。まさかタダ働きではあるまいと、こちらからいくらか払えばよいのか尋ねた。そしたら気持だけでよいと言うではないか。気持をお金に表すことの難しさ！三分も考えてしまい、たまたま財布に入っていた全財産の八五ドルを手渡した。「サンキュー」と言って、何事もなかったかのように帰ってしまっただけ。あれは安かったのか、払い過ぎだったのかと一晩も悩んでしまった。あの時は我が家のペットだったから仕方がないとしても、今回ののは勝手に入ってきた小リスである。

軍手をはめて捕まえようとしますが、消し炭の後ろに隠れたり、声が攻撃的で恐ろしくて手が中に入っていない。手では危険すぎるので棒で突ついでスーパリーのビニール袋の中に誘導するのだが、それもダメだ。娘にヒマワリの種を買いに行かせ、コーラの入っていた空き箱に丸く穴を開け、周りをガムテープで補強し、中に種を入れ、おとり箱を完成させた。部屋に出てしまわないよう網カバの隙間から棒を突つ込み、リスのお尻をこづきながら箱に入れた。その間、キーキーと威嚇の連発で、よくまあ疲れないものだと思心してしまつた。

すぐ屋外に出した。一目散に逃げて行くのかと思つたら、そうでもなくのらりくらり箱の周りをうろついている。その晩は「もう、あいさつはいから早くお母さんおとこへ行きなさい」向こうも「それではお世話になりました」と言つたかどうかは知らないが、一件落着と思えた。

翌朝、新聞を取りに行ったついでに外に出てみると、芝生にうっすら霜が降りていた。そしてなんと、あの小リスはコーラのはこの中から頭だけちよこんと出して凍死していた。その日はゴミの日だったので、悪いけど家ごと出してしまった。

『歌・唄・詩』

「童謡の旅」から

片山 博



今回この原稿を書くに当たつて、季節が春であれば、これにしようとして、今年の初めから朝日新聞掲載の童謡の旅、1夕やけ小やけをファイルしていた。でも本をめぐつてみると、文部省唱歌として載つていなくて、作者がどちらも書いていない。でもつとよく見ると、そのほかのものもそうである。

ああ、それなら判つた、自分の記憶に間違いはなかつた、と安心した。昨年の夏号に蜚狩りがあるが、五本松の川に流れ込む小川が、田舎の姉のすぐ横にあつて、ほんとうにめだかすくいをしたものだ。はあ、それがおがわわ。さらさらながる。と親に教つたものだった。ところが、現在は、さらさら行くよ。である。何故???

ここから十歳のこの童謡の旅の

作者の真実発見の旅が始まるのである。作詞、作曲者の名前が刻まれた立派な歌碑が代々木の公園にあるが、そこには肝心の川がないのである。何故。なぜ???

閑話休題

帰国直前 福岡県飯塚市徳前の私の生家を訪ねたとき私もまったく驚愕的な経験をした。それは、近くの炭鉱の真つ黒い水が流れる幅十五メートルくらいの小川がいまや道路(暗渠)になつていたのである。

といったことがきっかけになり、今度は父親が、仕事で地方に行くたびに歌にゆかりの地を訪ね、七つの子つて歌があるが、カラスは本当は三個から五個しか産まないのになぜ。七つなの、これつて

歳?それとも七羽?等の質問をまとめた(案外、知らずに歌っていた童謡の謎)なる本を出版した。娘さんは十冊、お父さんは四冊出版、ラジオ、テレビの出演依頼が増えたそうです。

夕やけ小やけふれあいの里は北浅川沿いにあり、この歌は一九二三年の関東大震災で意気消沈していた人たちの間で歌われ始め、日本全国に広がつたそうです。

歌は世につれ、世は歌につれ、とはまったくそうである。

因みに、初めの何故は、尋常小学校が国民学校になつた時に、口語体に改められたわけ。作詞高野辰之、作曲者岡野貞一。

この項は一月一日の朝日新聞「旅 歩く」より翻案要約したものである。お断りしておきます。

E: hkatayama@ic.ac.net

いるわけですが。そもそも日本のシャブシャブの元祖はこの東来存だったのかも知れません。いや、多分そうでしょう、余りにすべてが似過ぎていますから。

シャブシャブと云う飲み物はビール。この国のビールの消費の伸びはものすごいもので、競争も激しいから随分、品質も向上しています。昔は「五星ビール」が高級ビールとされていましたが、今やお目にかかれず、果たしてあるのかないのかさえ判りませんでした。この店でも、青島ビール、燕京ビールが供されていました。燕京ビールはサントリーの技術導入で作られたものとか、これが実に美味。不思議なのは北京で飲むとビールが格別に美味しいのです。お断りしておきますが、ジャカルタで飲む「ピントンビール」もそれは又、本当に美味しいものです。(結局、何処でもビールは美味しいと言うことになつてしましますが)

飲み物ついでですが、中国のワインも結構いけます。確かレミーマタンが技術供与したとかいう「ダイナスティ」というワインが美味でお奨めです。中国に行かれた折には試されてはいかかと思えます。

■四川料理

以前、北京の四川料理の店はごく限られていました。今回驚いたことはあちこちに一杯あるらしい。店の名前も料理の種類もいろいろとか。ホテルの近くに、軒あるというので二人で出かけたのですが、こ

違う。地元のお客で一杯。並んで漸くテーブルを確保しました。

注文は田鰻の料理を含め三種類。田鰻はみかけ「どせう」に似た魚ですが、とにかく辛いから味は何とも言いようがない。最初はともかく、お茶とご飯で何とか口を騙し騙し平らげました。このピリピリした辛さが強烈で、他の二つが何であつたか失念しました。どうも四川料理は本場に近い味ほど苦手です。飲み物は紹興酒、寒かつたのでこれを温めたのを飲みました。

日本の中華料理店では紹興酒と共に角砂糖が出され、それを入れて飲みます。中国も台湾もそのような風習はななく、一度もお目にかつたことはありません。さて、気になるお値段ですが、一人当たり二十三元(約三百五十円)とのこと。少し安すぎるような気がしました。

— 変化する中国 —

中国経済が猛烈な勢いで成長していることは、ご承知の通りですが、北京の街も二年で大変り、私が生活していた八八年から九一年頃までとは比べようもありません。

十四年前の北京は、通勤時の道は自転車一杯。自動車は少なく、タクシードも当時はほとんど見当たらず、利用するのはもっぱら外国人。それもあつて、流しのタクシーなどなく、必要な時はホテルまで走つていつて捕まえたものです。(その

ホテルがまた少なく、タクシートの停車しているホテルも少なかった)

当時、十一月といえば、「白菜」の月でした。冬の間の野菜補給のために、大量の白菜が漬物にされ、貯蔵されるので、十一月は街中白菜で一杯になり、道にまで溢れていたものです。

秋は「北京好日」と言うほど青く透き通つた素晴らしい空、どんな道にも植えられた街路樹、そして白菜が北京の十一月の思い出でした。北京空港への道は白陽樹の並木の間を走る狭い一本道。その風景が懐かしく思い出されます。そして仕事を終えて、ベッドに入りとうとうしなから、外の道のバカバカという馬車のひびめの音を聞きながら「思えば遠くに来たもんだ」などと感傷にふけつたものでした。

それが、今やすっかり変わりました。道は高速、高架道路が規則正しく走り、どの道も自動車一杯。どこでも流しのタクシードが拾え、お客も大半が地元中国人。運転手には女性も頑張っています。馬車が走るなど想像外です。飛行場も日本の援助で大規模な新しいものになり、飛行場から市内を結ぶ道も高速の高架道路、あつという間に着いてしまいました。

でも、何となく、物足りなさがあります。それは十一月というのにあの白菜の山にお目にかかれなくなつたこと。天気が悪かつたためもあつたのですが、空気が悪く、「北京秋天」の素晴らしいあの青空を見られなかつたことです。

北京の空気は格段に悪くなつており、日によつて「メートル先も見られぬほどのスモッグ」でした。もう市内では北京青天は見られないのかも知れませんが。街の中の生活は確かに豊かになつたようです。

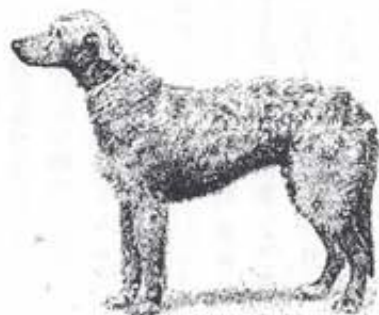
人々に活気があり、みな自信に満ちた顔に見えます。新聞も昔は人民日報しかないに等しかつたけれど、今や多数の新聞が、報道がすべて自由になつたわけではありませんが、各々売上げを競つています。そして資本家も、企業家も共産党に入党が認められるようになりました。

ところが、大勢の出稼ぎ労働者に賃金が支払われていないと聞きますし、彼らには組合を結成する権利も、団体交渉をしたりストライキに訴える権利も認められていないのです。

これで果たして共産主義といつてよいのか、いささか(と言ふより大いに)言つた方がよいのかも知れませんが、首を傾げざるを得ません。ある人がC C P (Chinese Communist Party = 中国共産党)を皮肉つて「Chinese Capitalist Party (中国資本家党)」と呼んでいました。

中国は我々の持つてくる常識や基準と余りにかけ離れた点があるので、日本人はそう簡単に現実の中国を理解することができず苦勞します。でも中国が益々重要になつてきているのは間違いない事実です。我々が中国に関心を持つ必要性も益々高まつてきています。そして何よりも、我々自身が自らの判断の基準を失ふことなく、この国を見ていくことが重要になつていくと考える次第です。

プロ犬V.S.プロ猫 激突座談会



世の動物愛好家を観察していると、動物全般が好きの人、野生動物しか興味のない自然環境派、いわゆる犬好き、猫好きなど特定の動物が好きの人、自分のペットだけが可愛い、他の動物などどうでもいいというエゴイスト、の四つに分かれています。オーロラの関係者は動物好きが多く、たいてい犬もしくは猫を飼っているのですが、しばしばどちらがペットとして可愛いかが、どちらが利口かという論議が出てお互い譲り合いません。そんないきさつがあるので、犬猿の仲ならぬ犬猫の仲が一夕顔を合わせて歯に衣を着せぬ対決と相成ったしいです。

★実生活の役に立つ犬

M・何や、この家には猫がおるやんか！、猫はする賢うて好かんわ。農家の納屋に棲みついてネズミよう獲るさかい云うて大目に見てもろうたんや。その辺の妥協から来たんが猫なんやで。歴史的に「すい動物やで。」

S・猫だけがネズミ捕りて人間に取り入ったのではありません。函館にいた子供の頃、アイヌ犬を飼っていました。アイヌ犬は元々熊を捕

るので、函館には熊はいませんでしたから、代わりにネズミを一撃でパンと捕えて飼い主に見せにきました。

M・犬は雑食で何でも食べるが、猫は肉食しかせえへん。犬もはじめは肉食やったが、それやったら生きていかれへんので、雑食になって人間と暮らせるようになったんや。猫は頑固やから妥協せえへん。

K・犬もネコも人間のお友達ですが、文学の上では猫の方が活躍しています。源氏物語にも出てきますし、キツプリングも「独立歩歩の猫」と歌っている。

G・でも桃太郎は犬を連れていて、猫を連れていません。

K・「枕草子」の猫は五位の位をもつらつているが、猫を追った犬のおきな丸は鳥流しになった。

M・犬を守らんならん法律はできたが、猫を守る法律はあらへん。

K・「生類哀れみの令」は生物全般で犬だけではありません。猫は知恵者なので、「長靴をはいた猫」とか猫に助けられてロンドン市長になった話がある。

G・盲導犬というのはあるが、盲導猫などきいたことがない…。実際の生活に役立つのは犬の方です。

K・盲導犬になったら、犬本来の楽

しい生活ができないのではないかしら。可哀想に……。

H・盲導犬、警察犬、番犬、麻葉犬、お使い犬、本当に犬は役に立ちますね。忠犬、御用犬というのもある。溺れそうになった飼い主を助けたら……。猫に助けられた人っていますか？

S・猫も役に立ちますよ。耳の間こえない人を朝起こしたりしますね。それから夜火事の時、猫が起きてくれたから助かったという話をよく聞きますが、あれは猫は飼い主を起こさなければドアが開かず自分が逃げられないことを知っているからだそうです。

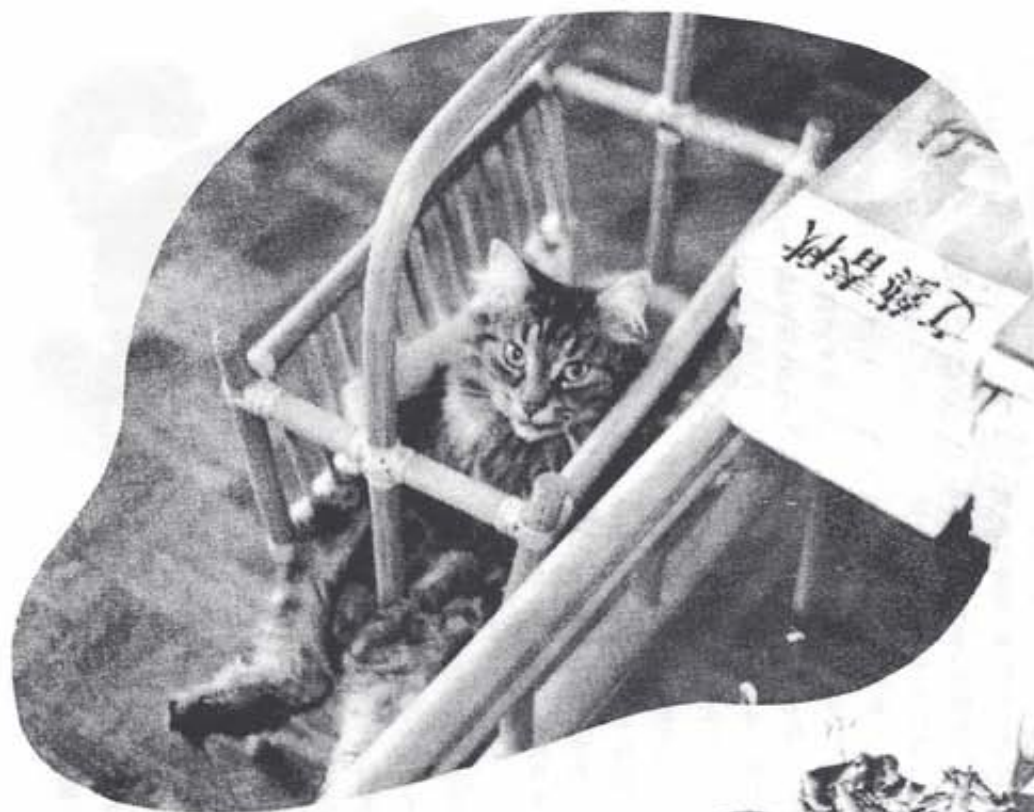
M・やっぱ猫は「すい」で。

★猫は佯びと寂びの世界

K・猫は爪でひっかくくらいで、人に危害を与えません。毎年子供が犬にかみ殺されますが、猫にかみ殺された話など聞いたことがない。

G・犬はどの犬を見ても表情があるが、猫はどれを見ても同じ顔をしている。日本にいた頃、飼っていた三毛猫が家出したので探しに行きましたが、どの三毛猫も同じような顔をしていて見分けがつかない。飼った猫でも呼んでも来ませんからね。

犬はこども、猫はセラピスト わかりやすい犬・わかりにくい猫



M・猫は元々呼んでもけえへん。疑い深くしてする賢いから。飯くれよらんか、なんてジーツと見とおる。

G・その点犬は、初対面の犬でも人生観がある顔付きをしている。目なんかうるませて、哀愁があつて……

H・あれは動物の目です。牛も同じような悲しい目をしています。猫は時々ちよつとすどい目をして人を見ますね。

K・猫も表情がありますよ。十年

以上猫と暮らしていると、彼らがくつろいでいる時、むくれている時、おびえている時、好奇心に燃えている時がよく分かります。犬のようにはやたら派手にビヨンビヨン、ワンワン、飛びついてこないから、四六時中一緒にいても邪魔にならない。

S・猫は佯びと寂びの世界ですね。一緒に暮らしているとじわじわと分かってくる。嬉しいからと云ってビヨンとニヤンとか云いませんけれど。

H・佯び猫、寂び猫、いいですね。根岸の里のわびすまい、みたいで……何のことかよくわかりませんが。

★猫はセラピスト

G・でも似たような猫より犬の方が表情があるので分かりやすい。気がつき振り回ります。

S・猫はその点ちよつと複雑で、おいでと云つてもすぐには来ない。ワンクッション置くんですね。来ないのでこつちがあきらめていると、少し経つてからやつて来る。

K・病氣して寝込んでいる時など、ベッドの上に飛び乗ってきて、寄り添って寝ている。感受性が強いんですね。



H・老人ホームでセラピー用に猫を何匹も飼っているのですが、係りの人には分からなくても猫の方は人間の死期を予知して、亡くなる人のベッドに必ずいるそうです。

M・新聞のマンガに犬と猫が出ると、猫の説明は？？？、犬は#★@、犬の方がある程度賢いんや。

G・マンガでも犬のキャラクターの方が面白いですね。犬はそれだけわかりやすくネタになりやすい。

K・猫の好きな文学者は多いが、犬の方はたまに大型犬が好きなお作家がいるくらいですね。

M・猫は理解できへんから小説になりやすいんや。

S・飼い主が好きないように猫の表情やしぐさを解釈できるから。

「うちのニャンコが世界」という

文庫本があつて、猫が家庭にはいるとセラピストの役割を果たして、家族全員の仲が良くなります。私の勤め先は、お金と時間があつて気難しいアメリカ人のお年寄りが主たるお客さまの仕事ですが、職場に隣のレストランのナターシャという猫が昼間ずっと来ていて、お客さまとの電話の応対でイライラした時など皆の気持ちを和らげてくれます。

G・犬を飼うのは体力がいりますね。一日一回真剣に遊んでやらないと機嫌が悪い。夜三十分間ハードに角力をとつてやります。

H・その点、猫はほつといってくれつてもんですから楽です。毎日散歩に連れて出る必要もないし、トイレは教えなくてもちゃんとリターボックスしてくれるし。

忙しくてかまつてやれない時、通りがかりにちようと触るとちゃんと反応します。それから犬の飼い主に云いたいことは、公園や道路を散歩の時トイレに使つて欲しくないこと、不潔、不衛生ですから。取り締まりの命令はないのかしら。一時ドロッツ袋の使用がやかましく云われていましたが、最近ルーズになったみたいです。これは犬の罪ではなく飼い主の問題です。

★ペットからの贈り物

G・ペットを飼つて一番辛いのは、ペットが死ぬ時ですね。うちの犬はガンを死にましたが、ドクターに云われて最後のデシジョンをしなくてはならない。主人は怖がつて部屋の隅に隠れてしまったが、私は犬を抱いていました。注射された時、犬が私の顔をまっすぐ見た瞬間が忘れられませんが、元気な時は短いから好きなことをやりなさい、と犬がインスピレーションを与えてくれました。

S・私の人生の前半は犬派で、キャツと飛びついてこれをやらなきや、という感じで人様にもご迷惑をかけたかなりハイパーな暮らしてしたが、後半猫と暮らしてフレキシブルに生きること、物事を距離をもって見ることが学びました。ワンクッションおいたゆとりや奥行きのある世界ですね。

K・猫は犬と比べてちよつと違う生態系で、犬は子供や赤ちゃんと同じで、ファミリーの一部ですが、猫の場合は人間と違う独立した動物がいるといった感じです。私は猫を通じて他の動物にも関心を持つようになりました。



山本博絵画教室

HIROSHI YAMAMOTO JAPANESE ART CLASS

- 墨絵・日本画・デッサン・水彩画・絵手紙の描き方
- 初歩から上級まで楽しみながら学べます。
- 少人数のグループレッスン、出張ワークショップ致します。
- 詳細、お問い合わせは TEL/FAX (416)964-3985
178 Avenue Road, Toronto. c/o Gallery T・O・R・A

オーラ

*日本からのご購読お申し込みは、みずほ銀行麹町東支店、普通預金口座012-1710250『オーラ』へ年間購読料3千円を振り込み、お手数ですが、最後のページのお申込用紙に記入して下記住所へご郵送願います。

送り先=O'RORA

729-73 McCaul St. Toronto, Ontario
M5T 2X2 CANADA



表紙のことば

きらめく春のシヨット

松本 寔

(まこと)

「ニューヨーク・ヤンキースの松井選手がトロント・ブルージェイズとの開幕戦に姿を現しました。ドーム球場の外は大雪、カナダの冬は続いているのにこの熱気。そう、野球ファンならずとも、待望の春の到来を身を以て感じているからこそ応援にも熱が入ります。」

ヤンキースがニューヨークに戻った頃から、トロントの日中気温も次第に上昇し、木々の芽も次第にふくらみを増やし始めました。

話題は自然に「ゴルフ」と変わります。長い間雪の下で眠っていた芝生が目をさまし、ピースフルな緑の世界を誇りながらプレイヤーたちに語りかけて来るからです。「俺は待ってるぜ」と。

更に、オーガスタ・ナショナルで開催された今年のメジャーゴルフ開幕戦でのマイク・ウエア選手の快挙など話題は広がる一方です。

カナダ人として始めてメジャーを制覇したのですから、会話が弾みグリーンへの憧れが日ごとに膨れて来るのは自然かも知れませんが。

そうだ、今年もコンピュータに協力してもらって曲線が織り成す抽象的な世界に、きらめく春のスイングをイメージしてみよう。

私は今、現役時代に趣味として蒐集して来た「帆船コイン」の整理と大航海時代の帆船の歴史、逸話、時代背景などを精力的に調査中ですが、マウスで描くグラフィックの楽しさに加え、思いはグリーンで爽快に飛ばすシヨット、カナダの春はきらめいているのです。

SILENT INSTRUMENTS

Imagine...you want to play an instrument but it will disturb others as the sound will transfer through the walls to a neighbouring condo, apartment or the baby's room. Yamaha, a maker of musical instruments since 1887 recognized the situation and designed the "Silent Instruments" using years of experience and innovative ideas.

SilentBRASS mutes the sound so very little can be heard. The player listens through earphones. Trumpet, flugelhorn, trombone, French horn, euphonium or tuba.

Silent guitar available in a steel or nylon stringed instrument. No sound chamber so you listen through headphones or a guitar amp.

Silent Strings include violin, viola, cello and bass.

DSXTreme electric drums - play them loud or soft.

Clavinova digital pianos can be played with headphones for your own private performance, day or night.

www.yamaha.ca

感動 **YAMAHA**
CREATING 'KANDO' TOGETHER

マニトバ通信

ディグニティを尊重する カナダの老人ホーム



ウイニペグ「ウエストハイブン」
トロント「ベルモントハウス」を訪ねて

五島宏治

戦前、大家族制度をとっていた日本では、戦後の核家族化に伴い、高齢者層への社会保障が大きな課題として残されてきた。その点、この問題に取り組んで歴史の古い欧米の方が日本より進んだ面があることは確



ウエストハイブンの全景

かである。そんなわけで、カナダと日本の老人ホームの違いを知ることが、私の関心事の一つであった。

◆「ユニット、ほぼ二DKの広さ

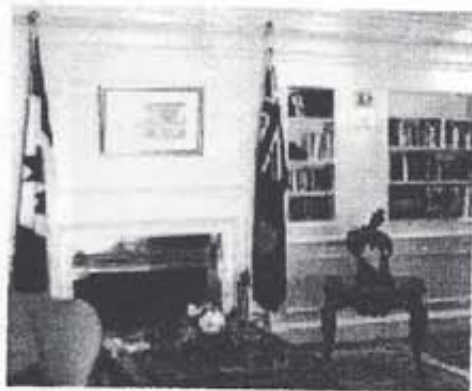
ウイニペグでは、そうした施設の一つとして「ウエストハイブン」を訪ねてみた。ここは全く民間の会社で、全米に約二百七十、カナダに約三十、同じタイプの組織を持つている。会社の名は「ホリデイ」であるが、各地の建物にはそれぞれ別の名がついている。ピンからキリまでであるといわれる日本の民間老人ホームと異なり、全体がほぼ同じ形で運営されているので、この会社を通じ北米にある数多くの老人ホームの現状を推察することもできるわけである。

十三階建てのそのビルは、市の中心よりやや西寄りのポーテージ通りに面し、比較的に見晴らしの好い所に建てられていた。一つのユニットはほぼ二DKの広さを持つており、時には入居者が好みの料理を作れるよう、キッチンと冷蔵庫を備えている。一階の玄関を入ると正面に図書室があり、右に回るとラウンジ・ルームと食堂に行き当たる。また左へ行くと売店が、二階にはゲーム室、理髪室、銀行などがある。入居者の家族や知人が訪ねてきた時泊まることのできるゲスト・ルーム（一泊五十ドル）も



ウエストハイブンの食堂

ウエストハイブンの娯楽室



ウエストハイブンの図書室

設けられている。

◆一ヶ月の入居費用は千九百二十五〜千九百五十ドル

三度の食事は入居者にとつて楽しみのものであるが、かなり細かな注意が払われている。朝食はフルーツ、ジュース、流動食、菓子パンなど、昼はスープ、パンケーキ、サンドウィッチ、サラダ、デザートなど、夜はステーキ、海老フライ、ポーク・チョップなどが日替わりで出るが、全員が同じメニューというわけではなく、毎回、ウエイターが好みを聞いて回る。分量はほぼ年輩者向きに作られているので、街のレストランで注文した料理を食べ残すというようなことはない。朝食は朝八時、昼は十一時四十五分、夕食は五時半から、それぞれ一時間以上、顔見知りとなった入居者同士が会話を交えながらゆつくりと食事をとる。くつろいだ雰囲気だ。

入居の費用は一部屋一ヶ月分が千九百二十五〜千九百五十ドル、夫婦で入居する場合はこれに四百五十ドルが加わる。大抵、少しは空き部屋があるので、申し込みとほぼ同時に入居できるが、日本のような法外な保証金（二万ドルから都心の一等地で二百万ドル以上）はとられない。入居の際、百ドルを納めて最初の月の入居費の一部に当てるほか、

半月分を保証金として預けることになつている。この会社は民間経営なので、州からの助成は全く受けていない。

◆要介護施設は入居まで四年待ち

私が以前、トロントにいた頃訪ねた施設「ベルモントハウス」は入居者二百二十人のうち八十人が要介護者であるため、費用の約四割を州が負担していることだった。この年間の支出約七百万ドルのうち、介護費が約半分を占め、残りが建物の維持、管理費や食費などとなつており、こういう施設にとつて介護に要する費用が非常に大きな割合を占めることが分かった。それだけに、そういう人の入居はどこでもなかなか難しい。日本の場合、お役所で要介護度の設定を受けてから入居できるまでに二、三年を要するが、「ベルモントハウス」の場合は、申し込みから入居までに四年ほどかかるという。

◆文化センター並みの活動

老人ホームの主たる仕事は食と住の提供であるが、それ以外に力を入れてるのが、文化的な性格を持つた日常の活動である。居住者は毎日の予定表の中から好みの催しを選んで参加する。「ウエストハイブン」で



ベルモントハウスのラウンジルーム
ベルモントハウスの集会室、
ここで色々の講演が行われる

は聖書研究会、カーベットボーリング、歌手を囲む歌の会、近距離にあるモールへのバスツアーなど、「ベルモントハウス」では毎朝の礼拝のほか、ピアノ演奏会、時事問題についての討論会、ビデオ鑑賞会、短編文学の朗読、ピンゴの会などを催している。

多民族の集合体のようなウイニペツクの町では、老人ホームの顔ぶれも様々であるが、「ベルモントハウス」の場合はイギリス系の人が多い。特に年輩者ともなると、同じ民族の血を引く人の方が何かと話し合いがやりやすいのでこういう施設もあるということなのであろう。

この日常生活をもっと広範に行っているのが、日系の人たちで組織されているトロントの老人ホーム、「モミジ」である。初心者向けの日本語教室をはじめ、生け花、ライندگان、刺繍、書道、墨絵、水彩画、ヨガ、写真撮影、陶芸、千切り紙、パソコン入門、インターネット、アルパムなどに応用する製本技術、和紙人形、造花、日本料理の作り方までも指導する。ちよつとした文化センター並みの講座内容だ。教材費を別にすれば、年間の受講料は四十〜五十ドルと安いので、その気になれば誰でもできる。外部からやって来るアーティストの舞台を見せるためのホールも設けられている。

「モミジ」では、一般からボランティア

イアを募り、入居者の話し相手になつて貰うという活動も進めている。この話し合いを通じて、古い世代の経験を若い人たちに伝え、日本というものを広く知って貰おうというねらいもそこにこめられている。

◆英語には養老院の言葉がない

私はこういう施設を訪れる前、日本語の「養老院」にびつたり当てはまる英語の単語が辞書の中になかった。こちらで普通に使われている英語は、「老人」という意味を直接面に出さない「リタイアメント」という言葉である。私は、管理者たちの心遣いをそこに見るような気もした。「入居者には常にコンパッションとレスペクトをもつて接し、ディグニティを尊重するようにしています」と彼らは言う。

食堂で出会う入居者の中に、一部歩行の不自由な人はいるにしても、一様に身なりを整え、お年寄りの哀れさを感じさせるようなものはまるでない。ダウンタウンの街角で見ると同じ年頃の人たちよりもずっと清楚で、表情も明るい。「ベルモント」は発足してほぼ五十年になるというが、施設に共通したこういう空気は、その歴史の中から自然に生まれてきたものなのかも知れない。

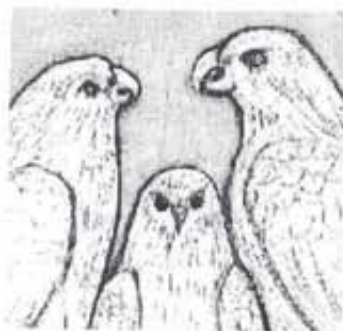
(ウイニペグ在住)

本の紹介

「ほしのむすめたち」

羽根節子 訳・絵

小野冬生・平塚電話対談



2 こどものとも



平塚 こんにちは。バンクーバーの冬は暖かかったそうですね。トロントはマイナス二十度以上になつたりして大変でした。

小野 暖冬もよしあしです。一月に日本からスキーがお目当ての友人が我が家に泊まりましたが、雪が少なくて気の毒でした。

平塚 冬のカナダはまるで東が北、西が南になつたみたいですね。

小野 その通りです。

平塚 前回の対談はおもしろかったと読者の方から電話を頂きました。

小野 そうですか。こちらでも安野光雅さんからお便りを頂きました。津和野の景色が描いてある絵

葉書で、本棚に飾っています。

平塚 あら、羨ましい。安野さんってどういふ字を書かれるのですか？

小野 鉛筆でさうとスケッチをしたような、力みのない字です。あのひとはたくさんの人に元気を与えてくれますが、それにひきかえ

政治家の秀才たちはどうして腐敗に走るのでしょうか。日本全体から元気を奪っている。

平塚 お役人や政治家の批判は余計だという電話もちょうだいしています。ほのぼのとした話をお願いします。

小野 北バンクーバーに羽根節子さんという方が住んでいます。ご存知ですか？

平塚 いいえ。どういふ方でしょう。

小野 朝倉根さんはご存じですか？舞台美術家、画家の。

平塚 はい。日本で勤めていた時代に取材で何回かお世話になつたことがあります。三十年前です。

小野 それなら平塚さんは羽根節子さんと間接的なご縁がある。羽根さんは朝倉根に師事したひとで、様々な作品を手がけている美術家です。

平塚 その方が北バンクーバーにいらっしゃるのですか。

小野 我が家から車で五分の処に主人とお二人で住んでいます。三十年以上になるそうです。

平塚 どういふ作品を作られるのですか。

小野 日本画、立体織物、版画と多彩です。空中に浮るす立体織物があつて、ゆらゆらと揺れている乗り物を見せていただきましたが、夢の世界に入り込んだような感じになります。

平塚 拝見したいですね。

小野 絵本も手がけられていて、三十年以上のロングセラーがあります。

平塚 三十年とは凄い。何という本ですか。

小野 福音館から出ている「かわいいめんどり」。イギリスとタジク

民話がもとになった童話です。
一九六七年発行だから三十六年のロングセラーですね。オーロラの読者で子供の時に読んだ人がいるかもしれない。

平塚 どなたかから連絡が来るような気がします。最近の本はないのでしょうか。

小野 あります。「ほしのむすめたち」カナダ・インディアンが語り伝えてきた話です。

平塚 もしかして、ウイニペグ生まれのマーガレット・ベミスターというひとが採話したものかしら。

小野 あいかわらずの博識ですね。そのとおりです。ベミスターは二十年前に亡くなっていますが、生前、教師のかたわらインディアンのお話を精力的に集めたひとで、そのひとつを羽根さんが訳して、絵を描いたのです。

平塚 カナダ・インディアンの話が日本で絵本になっっているなんて知りませんでした。

小野 羽根さんのご自宅から徒歩で数分行くと、セイリッシュという種族のインディアン居住地があつて、そこで出会った踊りや歌に感動したのがインディアン文化に関心をいだくきっかけになつたそうです。

平塚 太鼓の音に合わせてくるくる回

る踊り、ヒトと宇宙が一体になるような感じでわたしも好きです。



る踊り、ヒトと宇宙が一体になるような感じでわたしも好きです。

小野 そうですか。十五年前に住んだ社宅がマスキイアム族集落の近くで、よくドンドコドンドコという音が聞こえたけれど、見ておけばよかったなあ。

平塚 日本人の感性に近いものがインディアンにあるのではないのでしょうか。自然とのつきあいかたやアミニズムの信仰など。

小野 今の日本人はどうかなあ。自然とのつきあいかたが歪んでいるような感じだけれど。「ほしのむすめたち」は日本の昔話に似たところがあります。

平塚 「かくや姫」、「天の羽衣」、「雪女」。異生物との交わり。エロティックなところもある。

平塚 読んでみたいです。羽根さんの絵も拝見したい。お手元の本を貸していただけませんか。

小野 承知しました。すぐお送りします。それから安原さんの「日本はなぜこんな国になったのか」。

平塚 あ、すみません、他の電話がかかってきましたので、またの機会に伺います。ありがとうございます。

(福音館書房三百八十円)
T1103779020381



■今年のカナダの冬は長かった。多くの人もベットも少なからず影響を受けたのでは？ 我が家も愛犬桃子は、運動不足と食べ過ぎで、超肥満児になってしまった。半年ぶりに広い公園へ散歩に行ったが、いつものように走れない。私の後から息をはあーはあーいわせながらついて来るのがやつと。いつもお腹を上にしてころんとひっくり返って、もう歩かないとストライクを起すのではとほらはらす。

桃子の体重は少なく見ても三十五キロはゆうにあるので、小型犬のように気軽に抱いて帰れない。彼女に散歩中ストライキされたら、誰

かの助けを借りて、担架で運ぶか。桃子が歩けるまで野宿するしかない。桃子は二月にやつと三歳になったばかりなのだ。こんな危険な場面に遭遇しないために、桃子の減量と運動強化を新たに決心した今日この頃です。(順子)

■県人会めぐりの取材をして、単一国家日本というイメージが覆された。岩手県と沖縄県とは随分違う。県民性というのは、徳川時代三百年の藩時代の名残りが明治以降も残っているもの、とばかり思っていたが、実は更に長い歴史や風土の影響の方が強いことが分かった

からである。中央の平均化された日本に長年住んでいたのだからなかつたが、多様性や個性、豊かさ各地方に秘められていることを知り、嬉しくなった。各地方のダイナミックな多様性が県人会という形で、世界各国の日系コミュニティで継承されているわけである。それから、「内地」とか「本土」という言葉(植民地や外地から本国を指している)が今でも生きていることも驚きであった。

■最後の貼り合わせが終わった九時過ぎ、遅い夕食に行きました。普段なら十時過ぎまで賑わっている近所のレストランが皆真つ暗で、閉まっています。お客が少なくて早じまいをした様子。やつと一軒開いているチャイニーズレストランを探して最後の客になりました。SARSの影響をひしひしと感じました。気のせいか地下鉄も最近すいています。医療行政の対応のまずさというか、WHOから要注意地域に指定されて初めて、今まで鳴りを潜めていた行政担当者達が急に表に出てきました。(K・H)

おにぎりおいしい
さくら米



JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
730 QUEEN ST. W. TORONTO
TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593
<http://www.toronto-sanko.com>

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料16ドル(カナダ国内送料GST込み) 米国16米ドル
小切手を添えて郵送でお申し込み下さい。

ネーム _____
アドレス _____
郵便番号 _____

オーロラ

(代表・平塚かずよ)



SHISEIDO

BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

さりげなく、贅沢に時を過ごす。

ショーフレックスは
そんな演出のプロフェッショナルです。

- ◆ ご送迎、ホテル・空港でのチェックインサービスも致します。
- ◆ ナイアガラ観光は、快適なリムジンでどうぞ。
- ◆ 大・小バス、ストレッチリムジン、セダン等の各種サービスがあります。
- ◆ すべてのサービスは、日本語による親切丁寧なライセンスガイドまたはドライバーがご案内致します。



ShowFlex International Inc.

315 Adelaide St. West, Ontario M5V 1P8 Canada

Tel: (416) 977-6849 Fax: (416) 977-7250

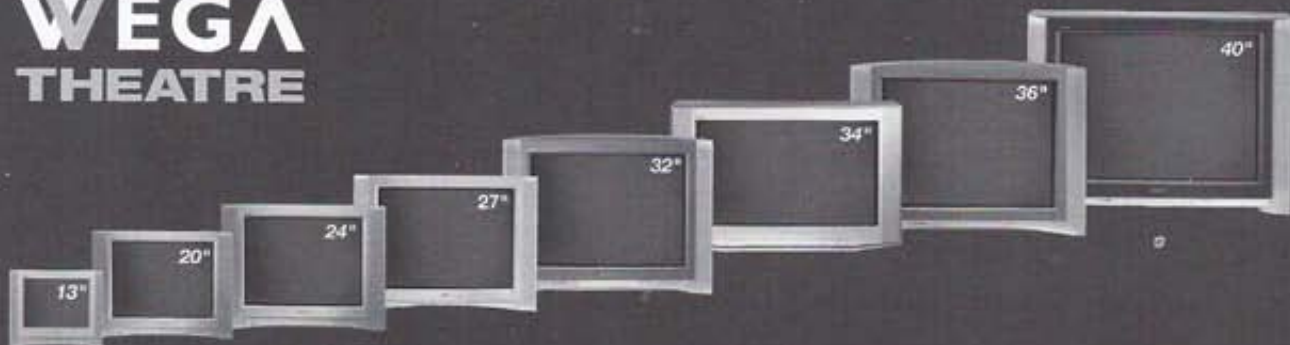
E-mail: info@showflex.com

SONY.



Watching a Wega and watching a TV are two entirely different things. The difference is in what you see. Wega® (pronounced Vay-guh) is the most impressive line of televisions to date.

WEGA THEATRE



IT'S WORTH SAVING YOUR EYES FOR.
www.sonystyle.ca/wegatheatre